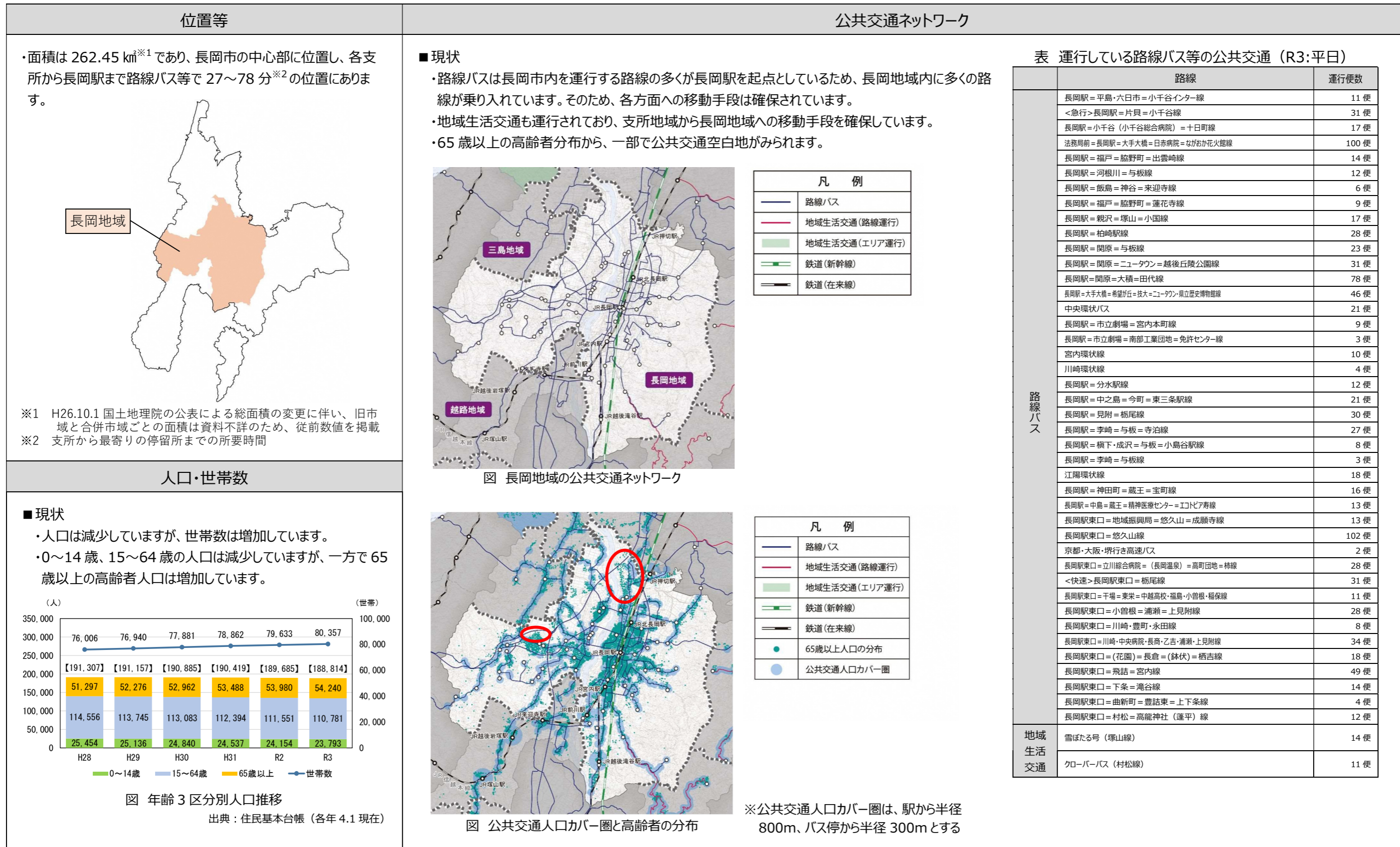


3. 地域別カルテ

(※R3 年度末時点で入手できた最新版データを用いて整理)

(1) 長岡地域における公共交通を取り巻く状況



住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（長岡地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

・長岡地域住民は、いずれの目的でも長岡地域内への外出が大部分を占めています。また、長岡地域内でもその他長岡地域へ外出する人が多く、必ずしも長岡駅周辺をはじめとした市内中心部への外出が非常に高いわけではありません。

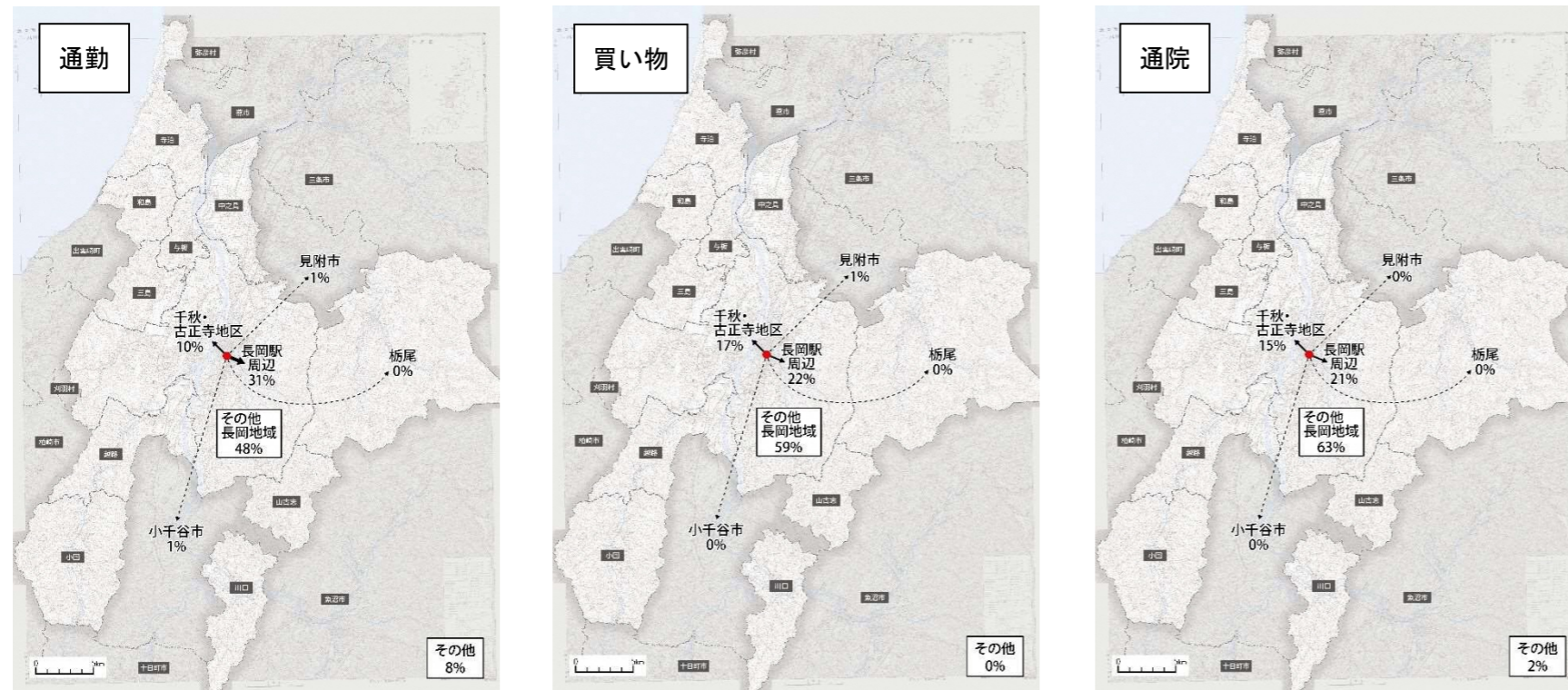


図 長岡地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

・バス路線が比較的多い長岡地域の住民からも、バスの運行時間帯や運行間隔への不満を感じている人が多いです。

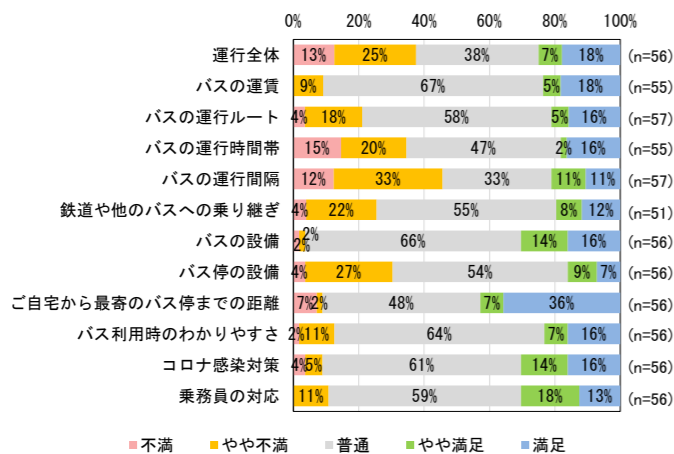


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

・バス利用者は、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多い結果となりました。
 ・バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

効果的だと思う取り組み	利用する人	利用しない人
新しい運行ルート	17%	15%
運行回数を増やす	38%	27%
時間帯を広げる	6%	10%
停留所を増やす	13%	12%
のりつぎ時間を短縮する	8%	4%
自宅からバス停までの距離を短縮する	10%	14%
冬でも時刻表どおりに運行する	40%	37%
割引サービスの導入	44%	43%
乗り降りするときの段差が小さいバスを導入	69%	45%
わかりやすい行き先の表示	40%	41%
バス停に屋根（上蓋）を整備する	40%	36%
キャッシュレス決済（ICカード等）を導入する	21%	29%
運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供	46%	46%
バス停や携帯電話などで、バスがどこを走っているかを分かるようにする	31%	35%
その他	17%	15%

図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数か月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（長岡地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「徒歩・自転車」が最も多く、次いで「家族などによる送迎」という結果になりました。
 ・路線バスの利用者は登下校時とも約40%であり、送迎より少ない結果となりました。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	38%	10%	0%	0%	56%	0%	76%	0%	(n=1231)
下校時	44%	11%	0%	1%	52%	0%	78%	0%	(n=1230)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

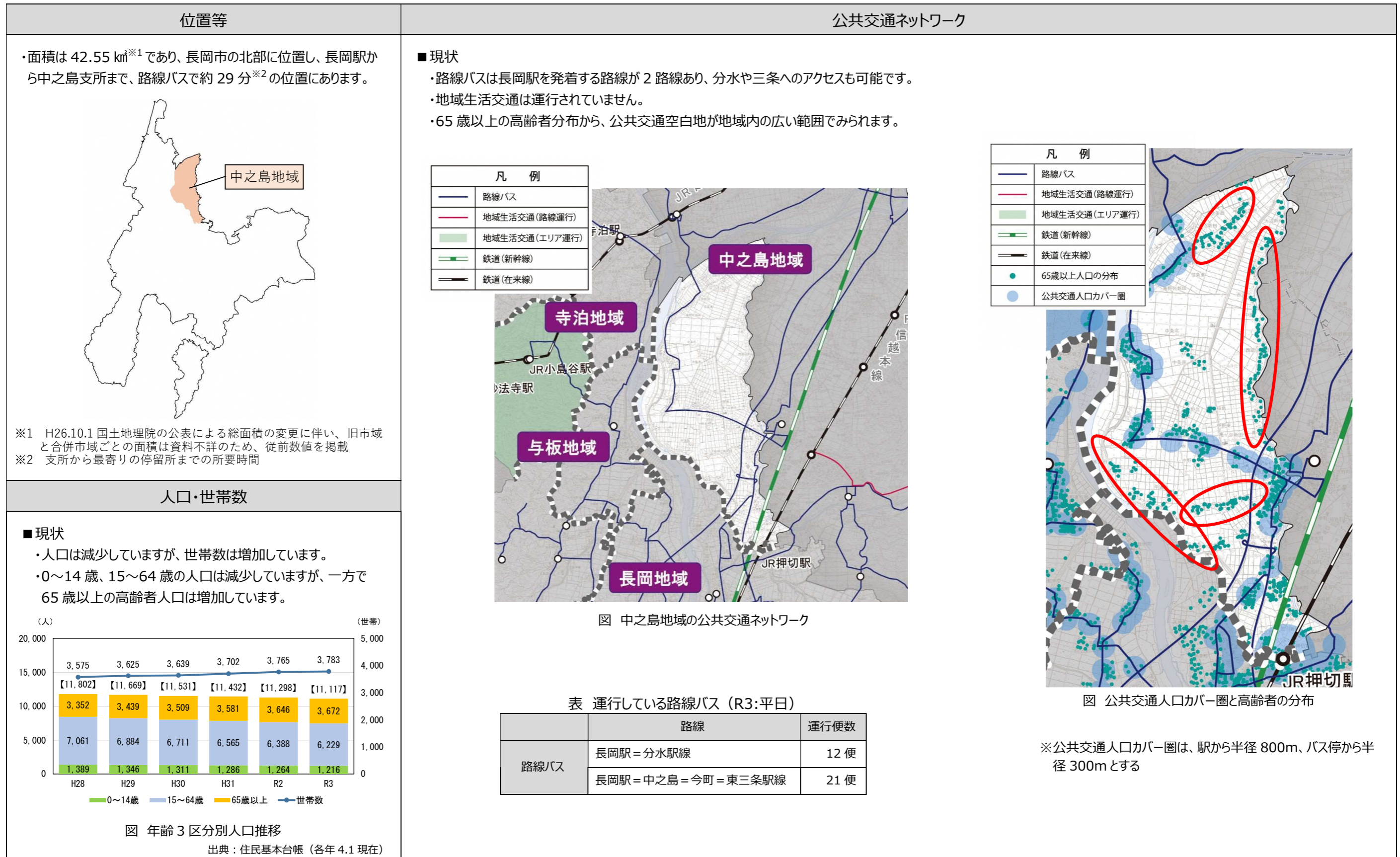
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=968）

- ① 運行本数が少ない（45%）
- ② 徒歩・自転車で出かけられる（30%）
- ③ 運賃が高い（21%）
- ④ 時刻表通りに来ない（21%）
- ⑤ SuicaなどのICカードが利用できない（20%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・路線バスでICカードを使えるようにしてほしい
- ・路線バスの運行本数を増やしてほしい
- ・鉄道の運行本数を増やしてほしい
- ・路線バスの運賃が高い

(2) 中之島地域における公共交通を取り巻く状況



住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（中之島地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- ・中之島地域住民は、「通勤」は中之島地域内、「買い物」は見附市、「通院」は長岡地域がそれぞれ最も多くなっています。尚、「買い物」及び「通院」を目的とする人は長岡市外の見附市に向かう割合が高くなっています。

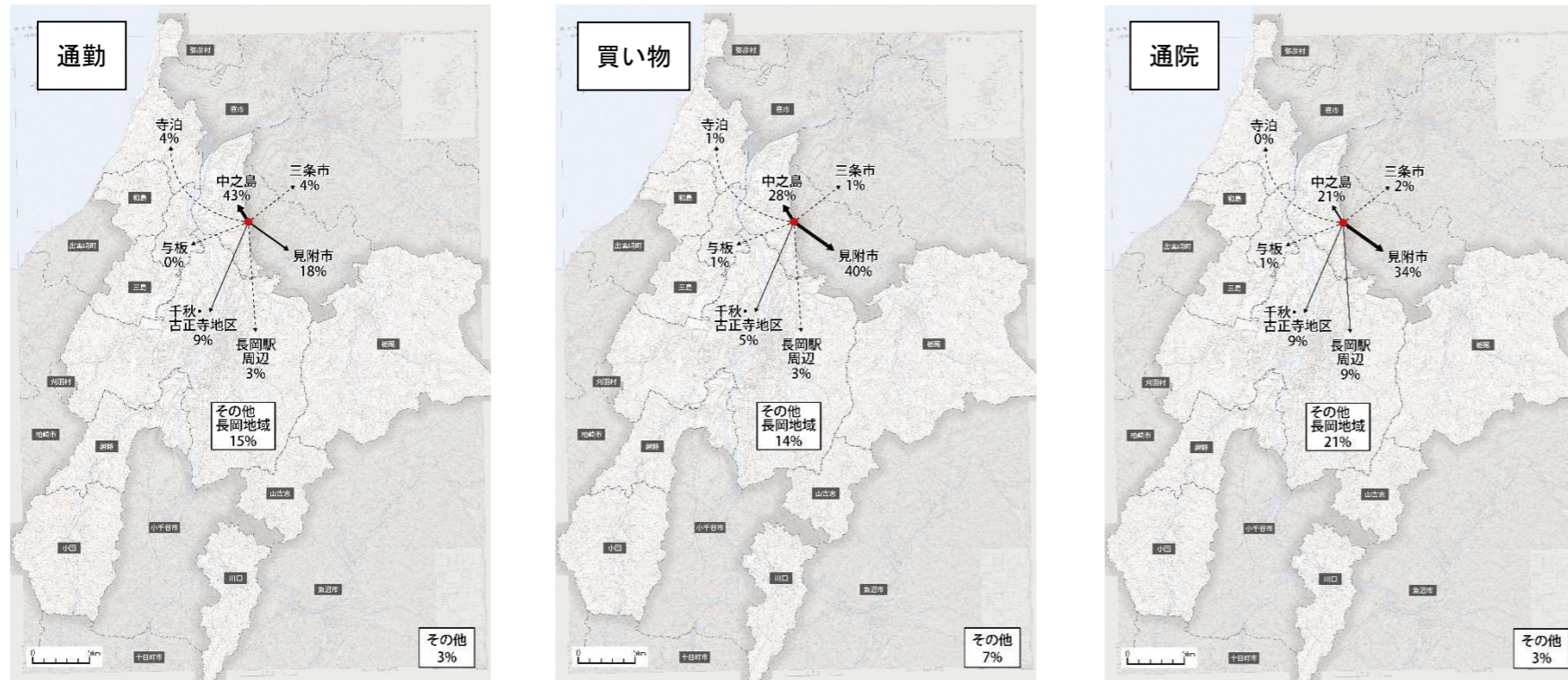


図 中之島地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- ・「バスの運行間隔」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。
- ・「最寄りバス停までの距離」は満足度が高い結果となりました。

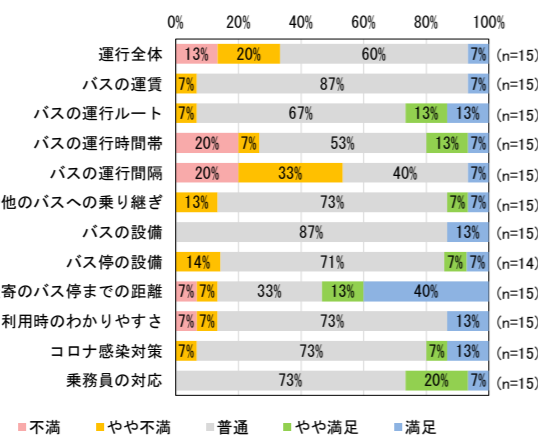


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- ・バス利用者は、「運行回数を増やす」、「わかりやすい行き先の表示」、「運行ルート・停留所の場所が分かる地図やわかりやすい時刻表を提供」が最も多いです。
- ・バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図やわかりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

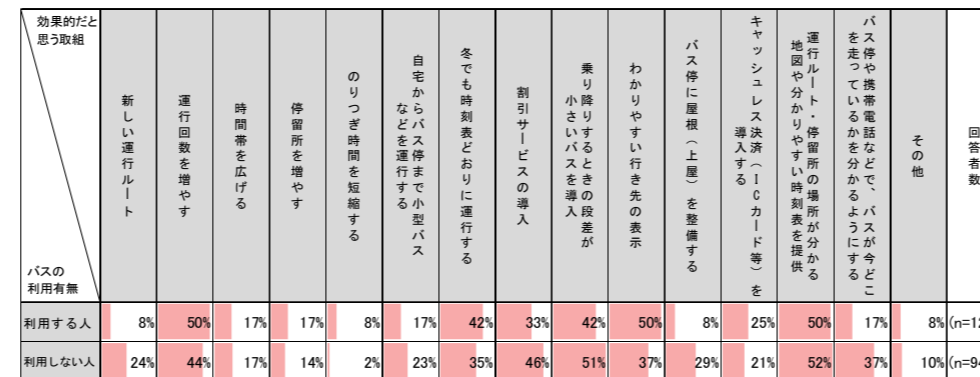


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（中之島地域居住者対象）

■ 中之島地域に居住する高校生の通学手段（高校生アンケート）

- ・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登校時は「家族などによる送迎」、下校時は「鉄道」が最も多い結果となりました。
- ・「家族などによる送迎」は登校時で80%、下校時で74%と高い割合を占めています。
- ・下校時は登校時と比べ送迎の割合が低く、公共交通の割合が高くなっていることから、下校時のみ公共交通を利用する人がいると考えられます。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	26%	77%	0%	0%	80%	0%	49%	0%	(n=35)
下校時	29%	86%	0%	0%	74%	0%	46%	0%	(n=35)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

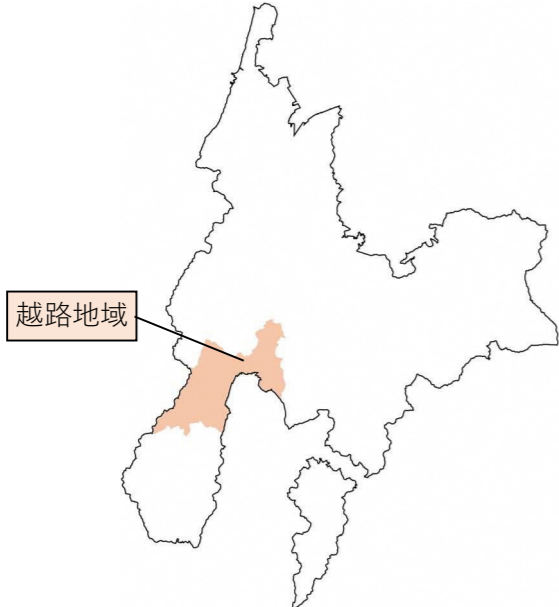
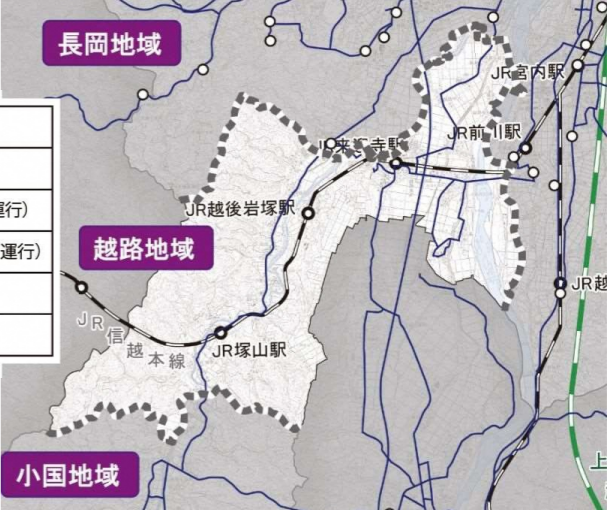
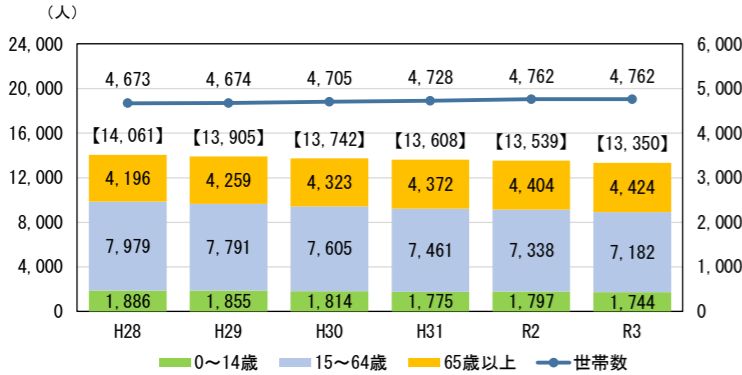
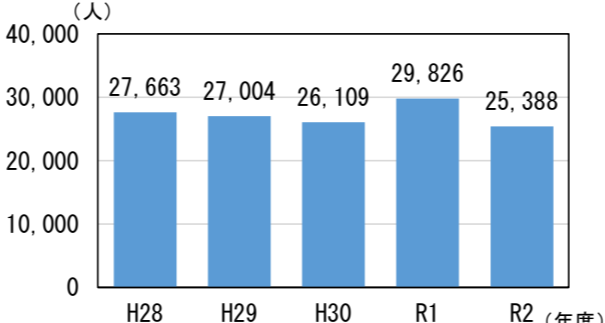
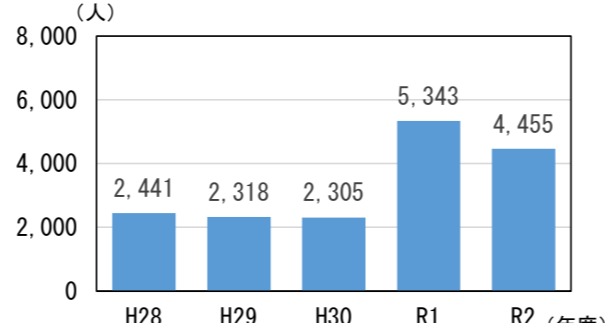
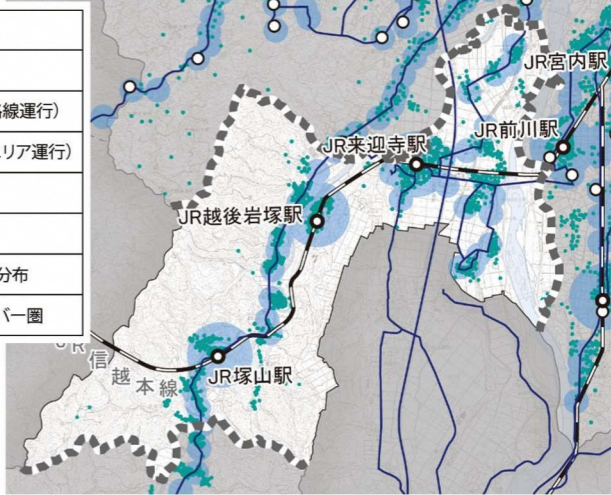
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=29）

- ① 運行本数が少ない（59%）
- ② 待合環境が悪い（31%）
- ③ バス停が遠い（28%）
- ④ 運賃が高い（28%）
- ⑤ SuicaなどのICカードが利用できない（24%）
- ⑤ 家族や友人に送迎を頼める（24%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・電車の本数が少なくて不便
- ・電車の本数を増やしてほしい

(3) 越路地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク													
<p>・面積は 58.44 km²*¹ であり、長岡市の南西部に位置し、長岡駅から越路支所まで、路線バスで約 27 分*² の位置にあります。</p>  <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は、JR 信越本線が運行されており、複数の駅があります。長岡・柏崎・上越方面へ乗り換えなしでアクセスすることが可能です。 ・路線バスは、長岡駅を発着する 3 路線が運行されています。また、小千谷や小国方面へアクセスすることも可能です。 ・また、越路地域循環バス「雪ぼたる」号を運行しており、地域内での移動交通手段を確保しています。塚山方面と岩野方面に向かう 2 路線が運行されています。 ・65 歳以上人口分布から、JR 塚山駅の南東部に公共交通空白地が見られます。 <p>【雪ぼたる号の利用実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越路地域循環バス「雪ぼたる」号の利用者数は、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で減少していますが、令和元年度の塚山線、岩野線の利用者数はともに平成 28 年度以降で最も多い利用者数となりました。 	<p>表 運行している路線バス等の公共交通 (R3:平日)</p> <table border="1" data-bbox="2059 415 2733 682"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><急行>長岡駅=片貝=小千谷線</td> <td>31 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅=飯島=神谷=来迎寺線</td> <td>6 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅=親沢=塚山=小国線</td> <td>17 便</td> </tr> <tr> <td>雪ぼたる号 (塚山線)</td> <td>14 便</td> </tr> <tr> <td>雪ぼたる号 (岩野線)</td> <td>4 便</td> </tr> </tbody> </table>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス 地域生活交通(路線運行) 地域生活交通(エリア運行) 鉄道(新幹線) 鉄道(在来線) <p>図 越路地域の公共交通ネットワーク</p>	路線	運行便数	<急行>長岡駅=片貝=小千谷線	31 便	長岡駅=飯島=神谷=来迎寺線	6 便	長岡駅=親沢=塚山=小国線	17 便	雪ぼたる号 (塚山線)	14 便	雪ぼたる号 (岩野線)	4 便
路線	運行便数													
<急行>長岡駅=片貝=小千谷線	31 便													
長岡駅=飯島=神谷=来迎寺線	6 便													
長岡駅=親沢=塚山=小国線	17 便													
雪ぼたる号 (塚山線)	14 便													
雪ぼたる号 (岩野線)	4 便													
<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は減少していますが、世帯数は増加しています。 ・0~14 歳、15~64 歳の人口は減少していますが、一方で 65 歳以上の高齢者人口は増加しています。  <p>図 年齢 3 区分別人口推移 出典：住民基本台帳 (各年 4.1 現在)</p>	 <p>図 雪ぼたる号の利用状況 (塚山線) 出典：長岡市</p>  <p>図 雪ぼたる号の利用状況 (岩野線) 出典：長岡市</p>	 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス 地域生活交通(路線運行) 地域生活交通(エリア運行) 鉄道(新幹線) 鉄道(在来線) 65歳以上人口の分布 公共交通人口カバー圏 <p>図 公共交通人口カバー圏と高齢者分布 ※公共交通人口カバー圏は、駅から半径 800m、バス停から半径 300m とする</p>												

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（越路地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- ・越路地域住民は、いずれの目的においても越路地域内が最も多いです。
- ・「買い物」や「通院」では長岡地域への外出も多く見られますが、千秋・古正寺地区及びその他長岡地域へ行く人が多い一方、長岡駅周辺へ行く人は少ないです。

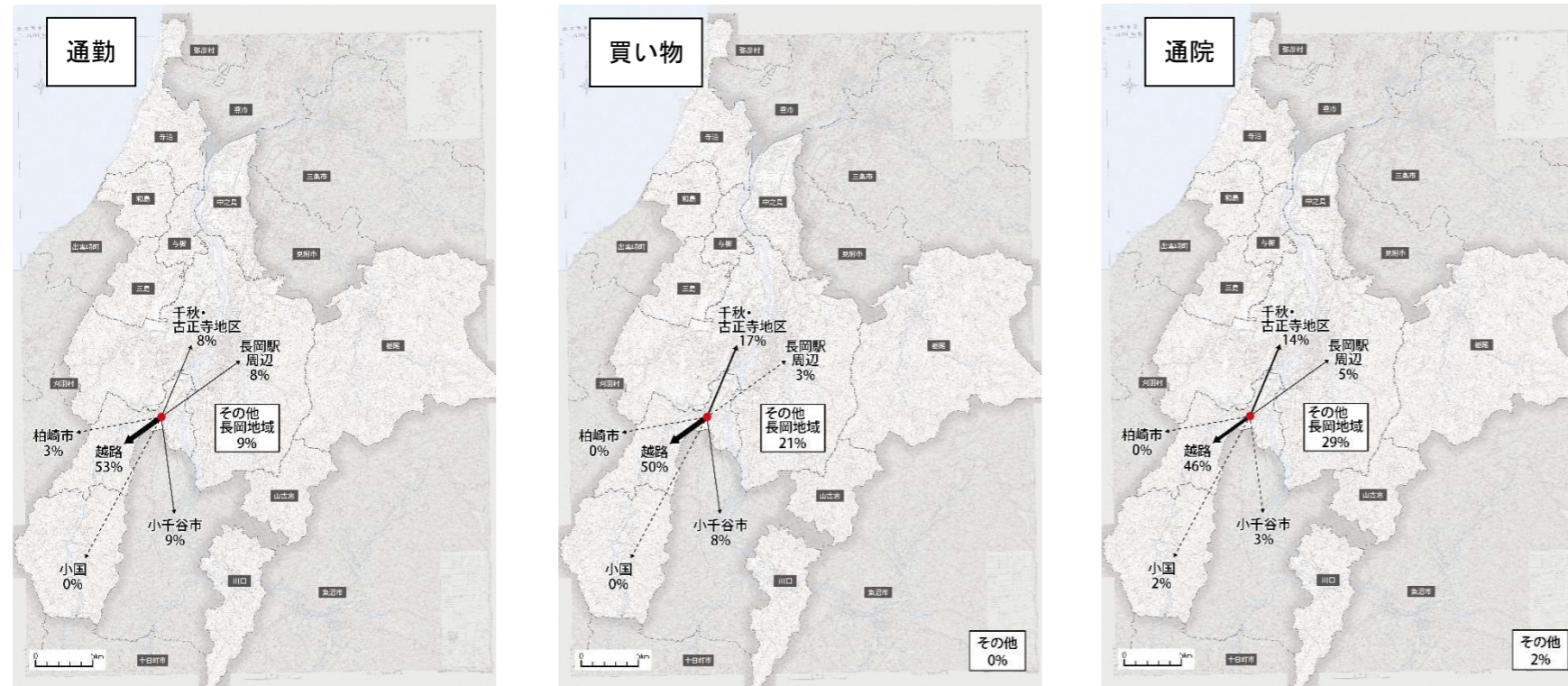


図 越路地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- ・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

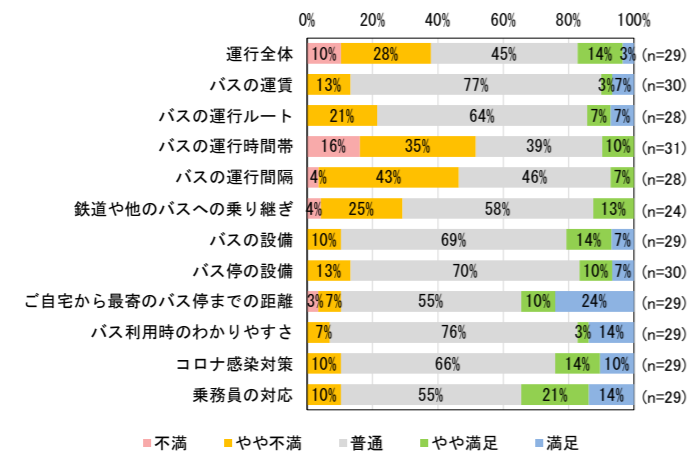


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- ・バス利用者は、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。
- ・バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

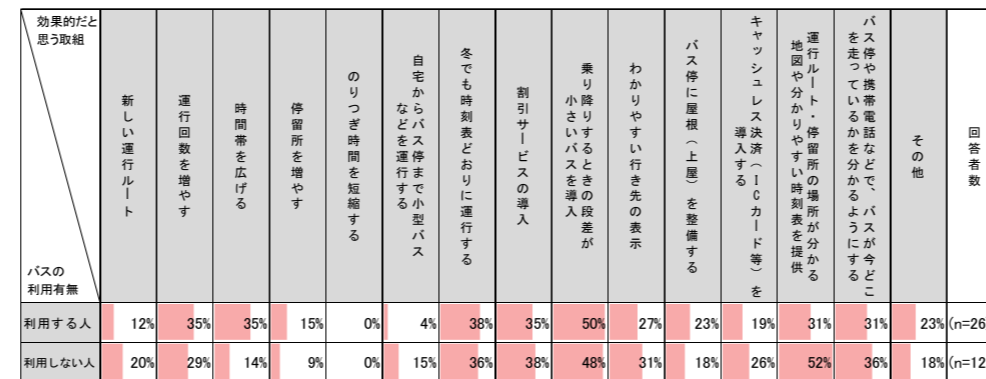


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（越路地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

- ・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「鉄道」が最も多く、次いで「徒歩・自転車」が多いです。
- ・「家族などによる送迎」も約半数を占めています。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスやタクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	24%	84%	2%	0%	53%	2%	55%	0%	(n=62)
下校時	26%	87%	2%	0%	50%	2%	55%	0%	(n=62)

図 登下校時の交通手段（複数回答）


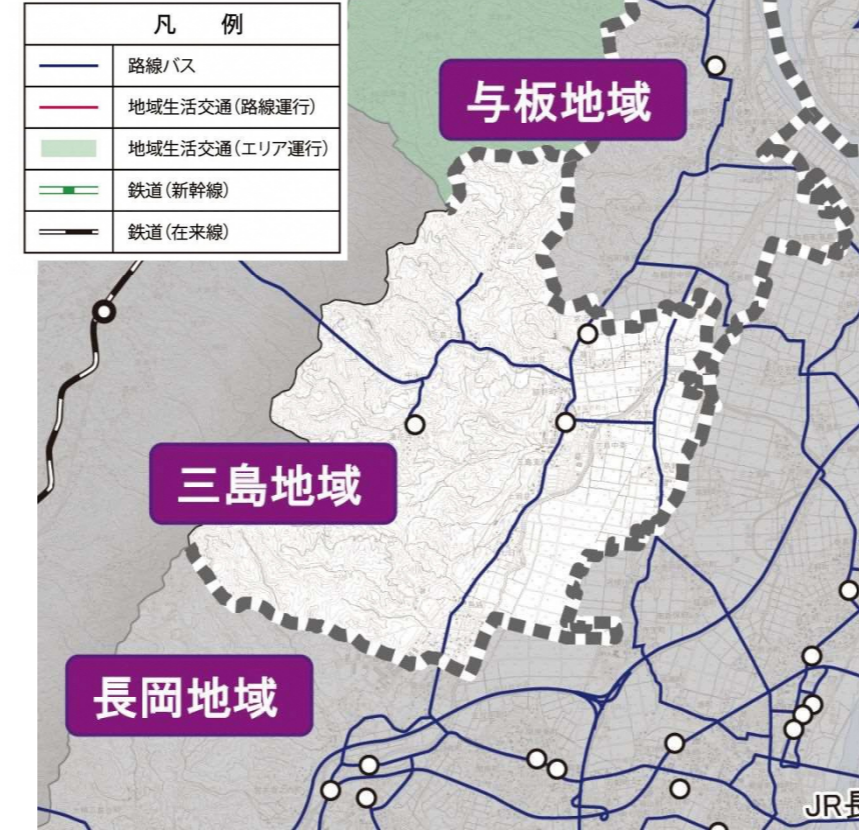
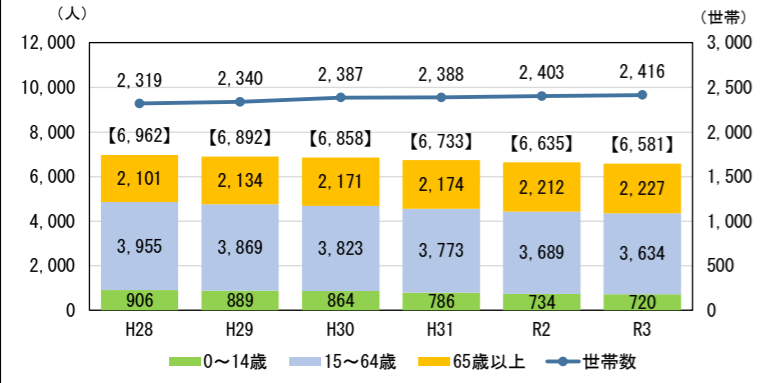
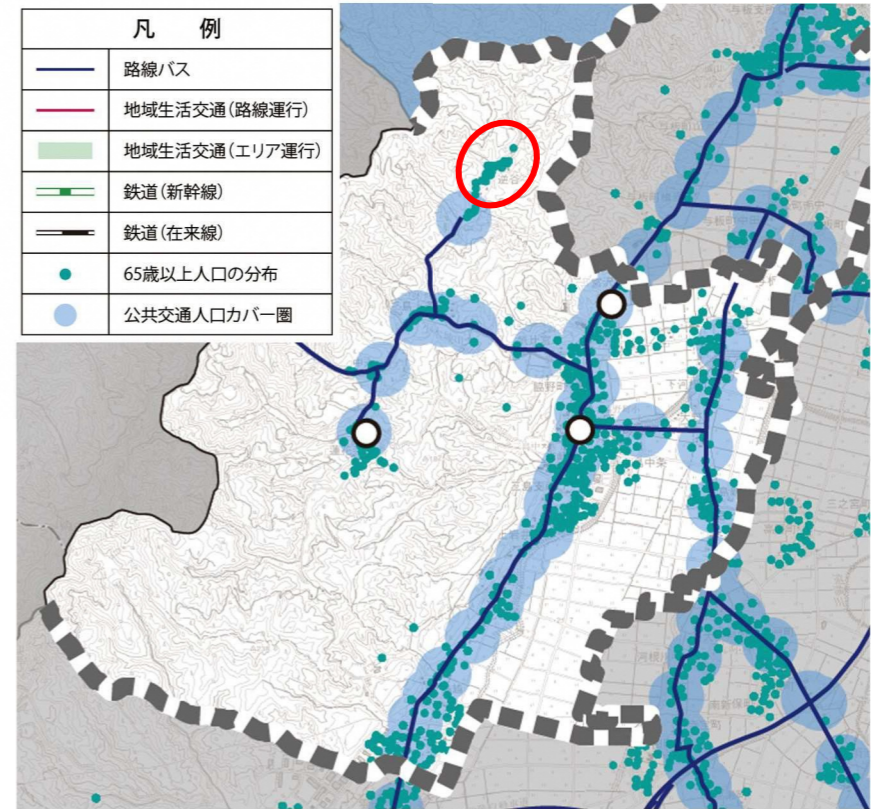
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=43）

- ① 運行本数が少ない（58%）
- ② 運賃が高い（40%）
- ③ 時刻表どおりに来ない（21%）
- ④ 待合環境が悪い（ベンチや上屋など）（19%）
- ⑤ 運行ルートや時刻表、乗り場が複雑でわかりにくい（16%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・21時台の電車を増やしてほしい（例：直江津行き）
- ・12～13時半の間に信越本線の柏崎・直江津行きの列車が1本欲しい
- ・バスが1日に3本しかないのを改善してほしい

(4) 三島地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク										
<p>・面積は 36.47 km²*¹ であり、長岡市の西部部に位置し、長岡駅から三島支所まで、路線バスで約 36 分*² の位置にあります。</p>  <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスは、長岡駅を発着する4路線が運行されています。また、出雲崎や与板方面へアクセスすることも可能です。 ・地域生活交通は運行されていません。 ・65歳以上の高齢者分布から、路線バスの終点部より先の区間で一部公共交通空白地が見られます。 	<p>公共交通ネットワーク</p>  <p>図 三島地域の公共交通ネットワーク</p>									
<p>人口・世帯数</p> <p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は減少していますが、世帯数は増加しています。 ・0～14歳、15～64歳の人口は減少していますが、一方で65歳以上の高齢者人口は増加しています。  <p>図 年齢3区分別人口推移 出典：住民基本台帳（各年4.1現在）</p>	 <p>図 公共交通人口カバー圏と高齢者の分布</p> <p>※公共交通人口カバー圏は、駅から半径800m、バス停から半径300mとする</p> <p>表 運行している路線バス等の公共交通（R3:平日）</p> <table border="1" data-bbox="1023 1575 1780 1848"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長岡駅＝福戸＝脇野町＝出雲崎線</td> <td>14 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝河根川＝与板線</td> <td>12 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝福戸＝脇野町＝蓮花寺線</td> <td>9 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝関原＝与板線</td> <td>23 便</td> </tr> </tbody> </table>	路線	運行便数	長岡駅＝福戸＝脇野町＝出雲崎線	14 便	長岡駅＝河根川＝与板線	12 便	長岡駅＝福戸＝脇野町＝蓮花寺線	9 便	長岡駅＝関原＝与板線	23 便
路線	運行便数										
長岡駅＝福戸＝脇野町＝出雲崎線	14 便										
長岡駅＝河根川＝与板線	12 便										
長岡駅＝福戸＝脇野町＝蓮花寺線	9 便										
長岡駅＝関原＝与板線	23 便										

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（三島地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

・三島地域住民は、目的によって外出先が大きく異なっています。各目的とも長岡地域が最も多いですが、より具体的に見ると、長岡駅周辺へ外出する人は少なく、千秋・古正寺地区など郊外部への外出が目立ちます。また、三島地域内への外出について、「買い物」はわずかですが、「通院」は多くみられます。

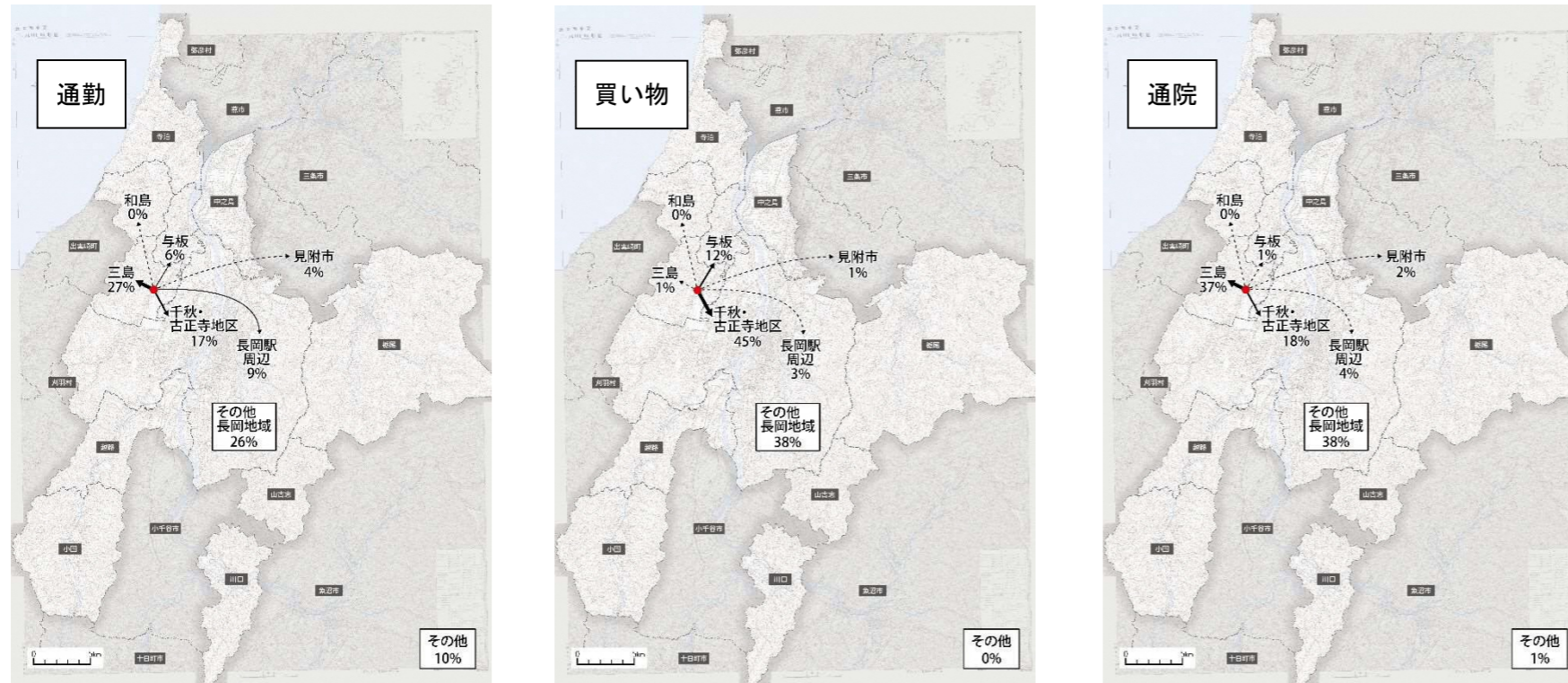


図 三島地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

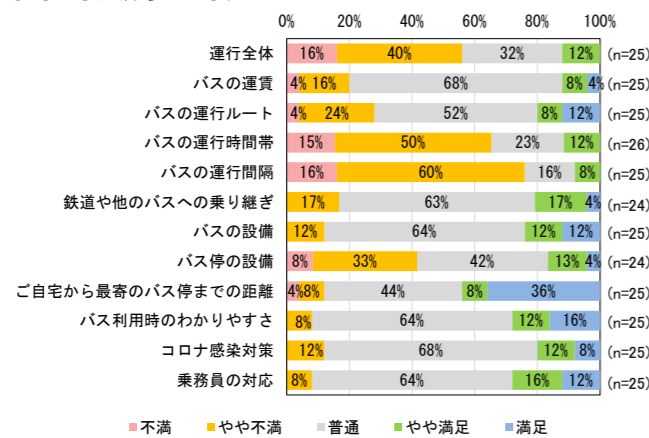


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

・バス利用する人、バスを利用しない人ともに、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。
・次いでバス利用者で多いのが「運行回数を増やす」であり、バスを利用しない人は「割引サービスの導入」となっています。

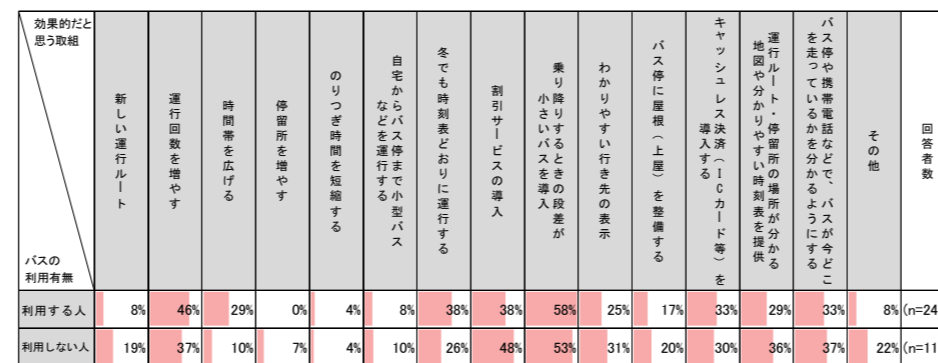


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（三島地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登校時は「家族などによる送迎」が最も多く、次いで「路線バス」という結果になりました。
・一方、下校時は「路線バス」が最も多く、次いで「家族などによる送迎」という結果となり、下校時のみ公共交通を利用する人がいると考えられます。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	65%	2%	0%	2%	75%	0%	46%	0%	(n=52)
下校時	75%	2%	0%	2%	71%	0%	46%	0%	(n=52)

図 登下校時の交通手段（複数回答）


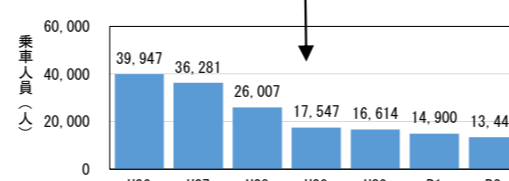
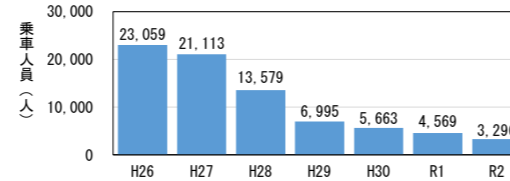
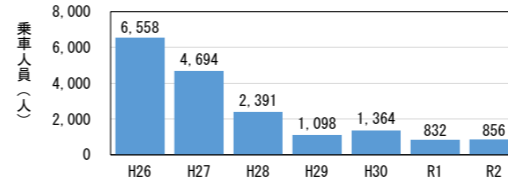
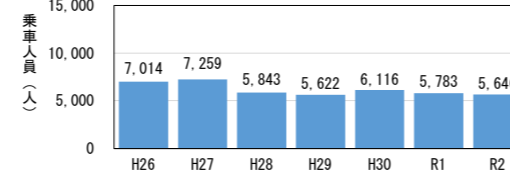
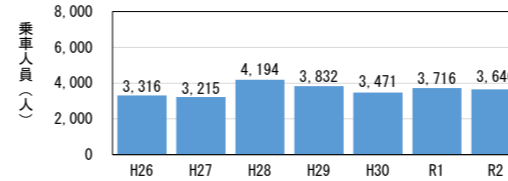

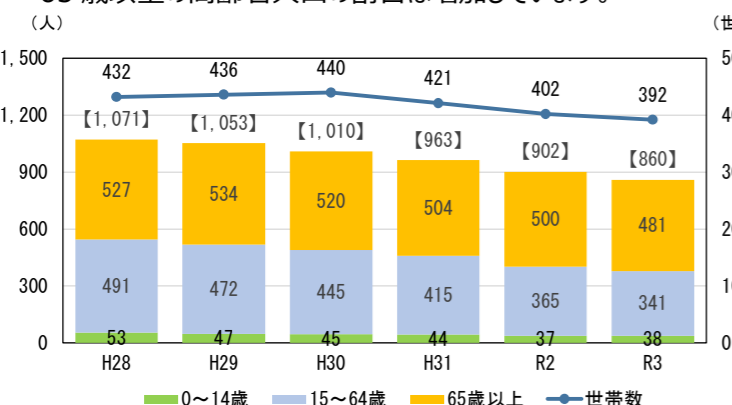
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=46）

- ① 運行本数が少ない（85%）
- ② 運賃が高い（35%）
- ③ 待合環境が悪い（ベンチや上屋など）（24%）
- ④ 時刻表どおりに来ない（22%）
- ④ 最終便の時間が早い（22%）
- ④ 車内が混雑し、座れない（22%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・バスの運行本数が少なく不便
- ・運行本数を増やしてほしい
- ・バスの運行間隔を狭めてほしい

(5) 山古志地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク																																	
<p>・面積は約 39.83 km²※¹ であり、長岡市の南部に位置し、長岡駅から山古志支所まで路線バスで、約 50 分※² の位置にあります。</p>  <p style="text-align: right;">山古志地域</p> <p>※¹ H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※² 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山古志地域内を運行していた路線バスは、平成 19 年 12 月に廃止となり、これ以降、地域生活交通「クローバーバス」が運行されています。 ・村松線と岩間木線では、路線バスに乗り継ぐことができ、村松線は長岡方面へ、岩間木線は小千谷方面へそれぞれアクセスすることができます。 <p>【山古志地域生活交通の利用実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度以降の全路線の利用者数は、減少傾向です。 ・村松線及び岩間木線は利用者数の減少が著しいです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> H28.11 から越後交通路線バスが太田地区まで延伸 太田小中学生が路線バスに移行 </div>  <p style="text-align: center;">図 利用状況 (全路線計)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図 利用状況 (村松線)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図 利用状況 (岩間木線)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>図 利用状況 (種芋原線)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図 利用状況 (小松倉線)</p> </div> </div>		<p>表 運行している路線バス等の公共交通 (R3:平日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>路線</th> <th>運行便数 (学校関連便除く)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">地域生活交通 (クローバーバス)</td> <td>村松線</td> <td>11 便</td> </tr> <tr> <td>岩間木線</td> <td>5 便</td> </tr> <tr> <td>種芋原線</td> <td>7 便</td> </tr> <tr> <td>小松倉線</td> <td>5 便</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 路線バスと地域生活交通間の乗り継ぎ状況 (R3:平日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>山古志→長岡・小千谷</th> <th>長岡・小千谷→山古志</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村松線</td> <td>5 便/6 便が乗換え※可能</td> <td>5 便/5 便が乗換え※可能</td> </tr> <tr> <td>岩間木線</td> <td>2 便/2 便が乗換え※可能</td> <td>3 便/3 便が乗換え※可能</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※乗換えは 10 分以内と想定</p> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">凡 例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>路線バス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域生活交通(路線運行)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域生活交通(エリア運行)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄道(新幹線)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄道(在来線)</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">図 山古志地域の公共交通ネットワーク</p> </div>		路線	運行便数 (学校関連便除く)	地域生活交通 (クローバーバス)	村松線	11 便	岩間木線	5 便	種芋原線	7 便	小松倉線	5 便		山古志→長岡・小千谷	長岡・小千谷→山古志	村松線	5 便/6 便が乗換え※可能	5 便/5 便が乗換え※可能	岩間木線	2 便/2 便が乗換え※可能	3 便/3 便が乗換え※可能		路線バス		地域生活交通(路線運行)		地域生活交通(エリア運行)		鉄道(新幹線)		鉄道(在来線)
	路線	運行便数 (学校関連便除く)																																
地域生活交通 (クローバーバス)	村松線	11 便																																
	岩間木線	5 便																																
	種芋原線	7 便																																
	小松倉線	5 便																																
	山古志→長岡・小千谷	長岡・小千谷→山古志																																
村松線	5 便/6 便が乗換え※可能	5 便/5 便が乗換え※可能																																
岩間木線	2 便/2 便が乗換え※可能	3 便/3 便が乗換え※可能																																
	路線バス																																	
	地域生活交通(路線運行)																																	
	地域生活交通(エリア運行)																																	
	鉄道(新幹線)																																	
	鉄道(在来線)																																	
人口・世帯数																																		
<p>■ 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口、世帯数ともに減少傾向です。特に平成 31 年には人口 1,000 人を切り、令和 3 年には 900 人を切っており、短期間で人口が大きく減少しています。 ・65 歳以上の高齢者人口の割合は増加しています。  <p style="text-align: center;">図 年齢 3 区分別人口推移</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">出典：住民基本台帳 (各年 4.1 現在)</p>																																		

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（山古志地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- 山古志地域住民は、目的によって外出先が大きく異なっており、「通勤」は山古志地域内、「買い物」は小千谷市、「通院」は長岡地域とそれぞれ最も多いです。
- また、「買い物」ではその他長岡地域、「通院」では山古志地域内や小千谷市への外出も目立っています。

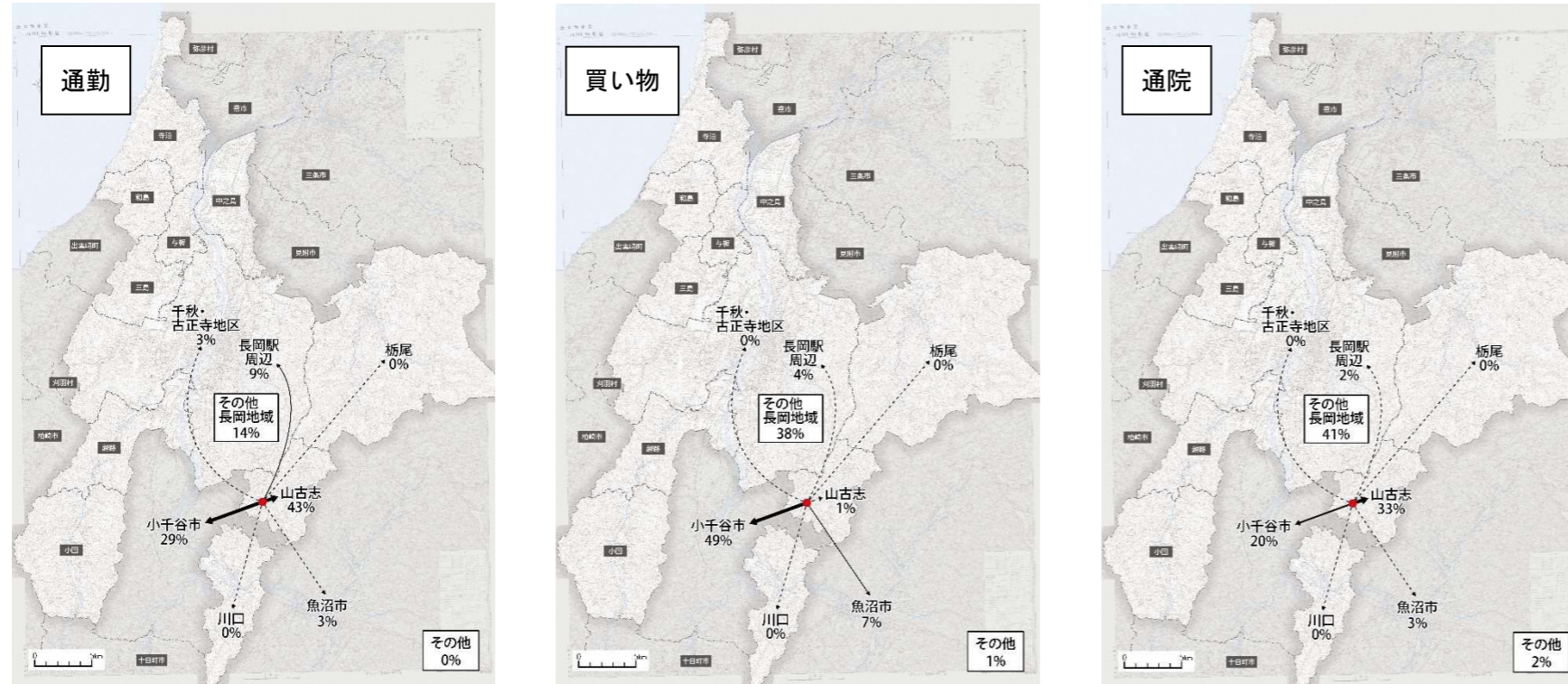


図 山古志地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- 「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

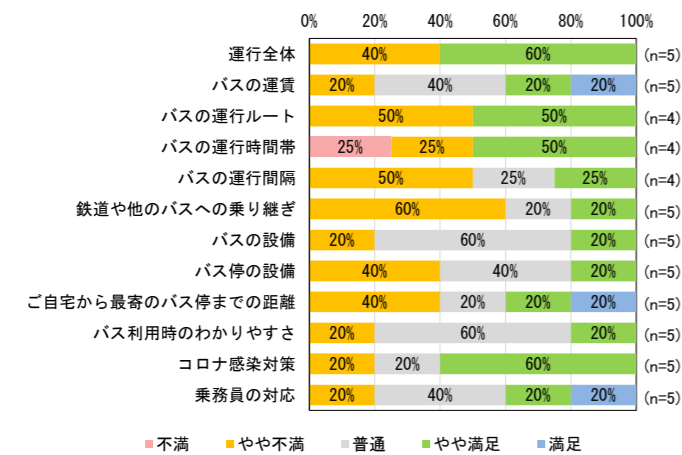


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- バス利用者は、「停留所を増やす」が最も多い結果となりました。
- バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

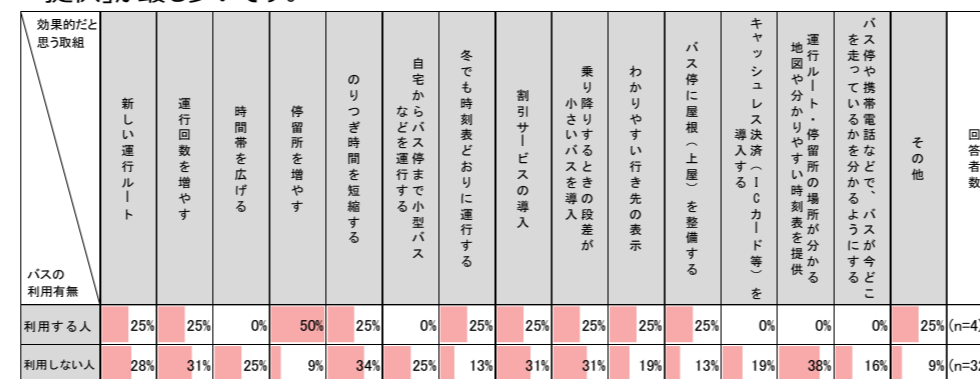


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（山古志地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

- 長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、1人の回答を得ることができ、登下校時とも多くの手段を活用して通学しています。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	100%	0%	0%	100%	100%	100%	100%	0%	(n=1)
下校時	100%	0%	0%	100%	100%	100%	100%	0%	(n=1)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

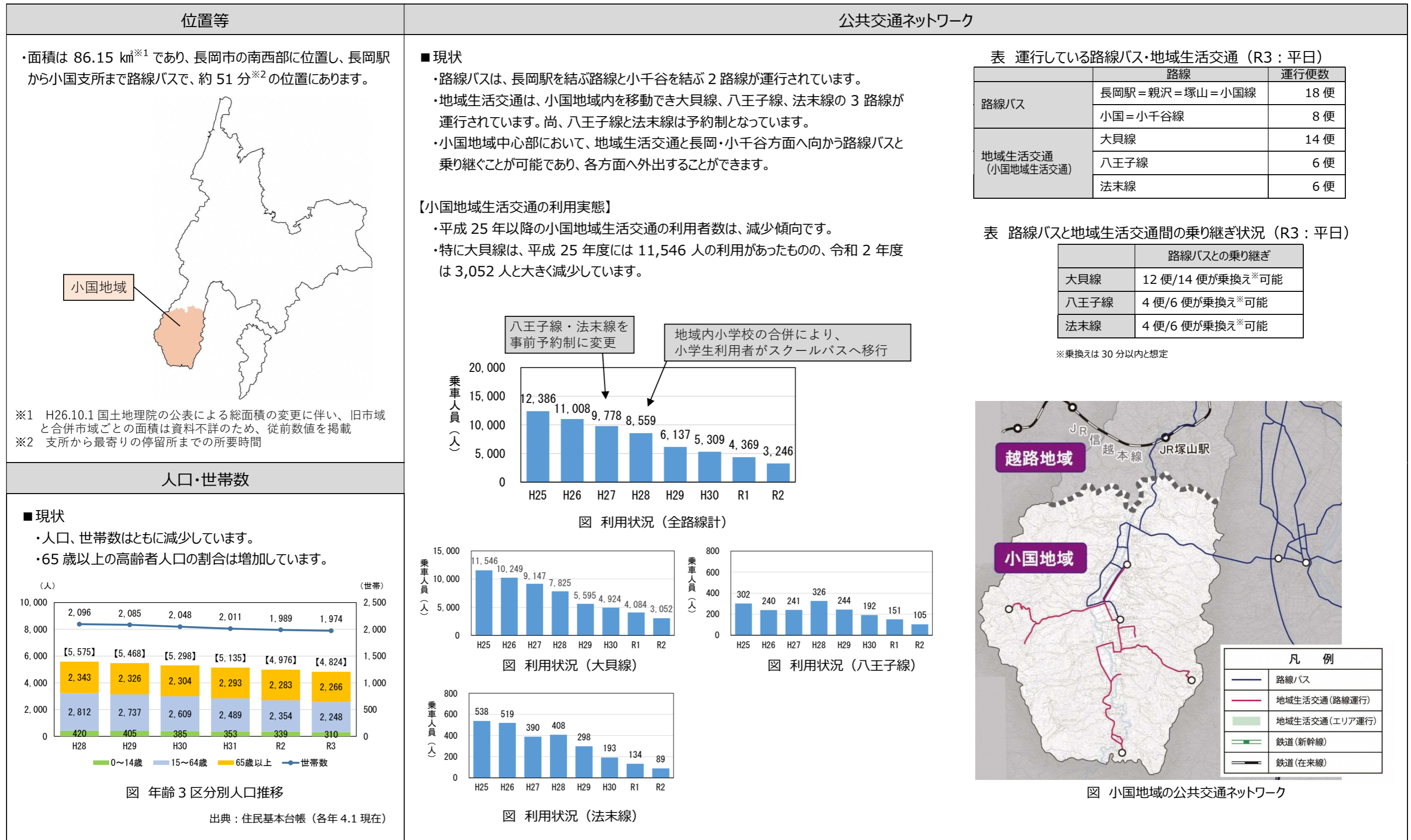
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=1）

- ① 運行本数が少ない（100%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- 意見なし

(6) 小国地域における公共交通を取り巻く状況



住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（小国地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

・小国地域住民は、目的によって外出先が異なり、「通勤」と「通院」は小国地域内、「買い物」は小千谷市がそれぞれ最も多いです。また、どの目的においても小千谷市への外出が比較的多くなっています。

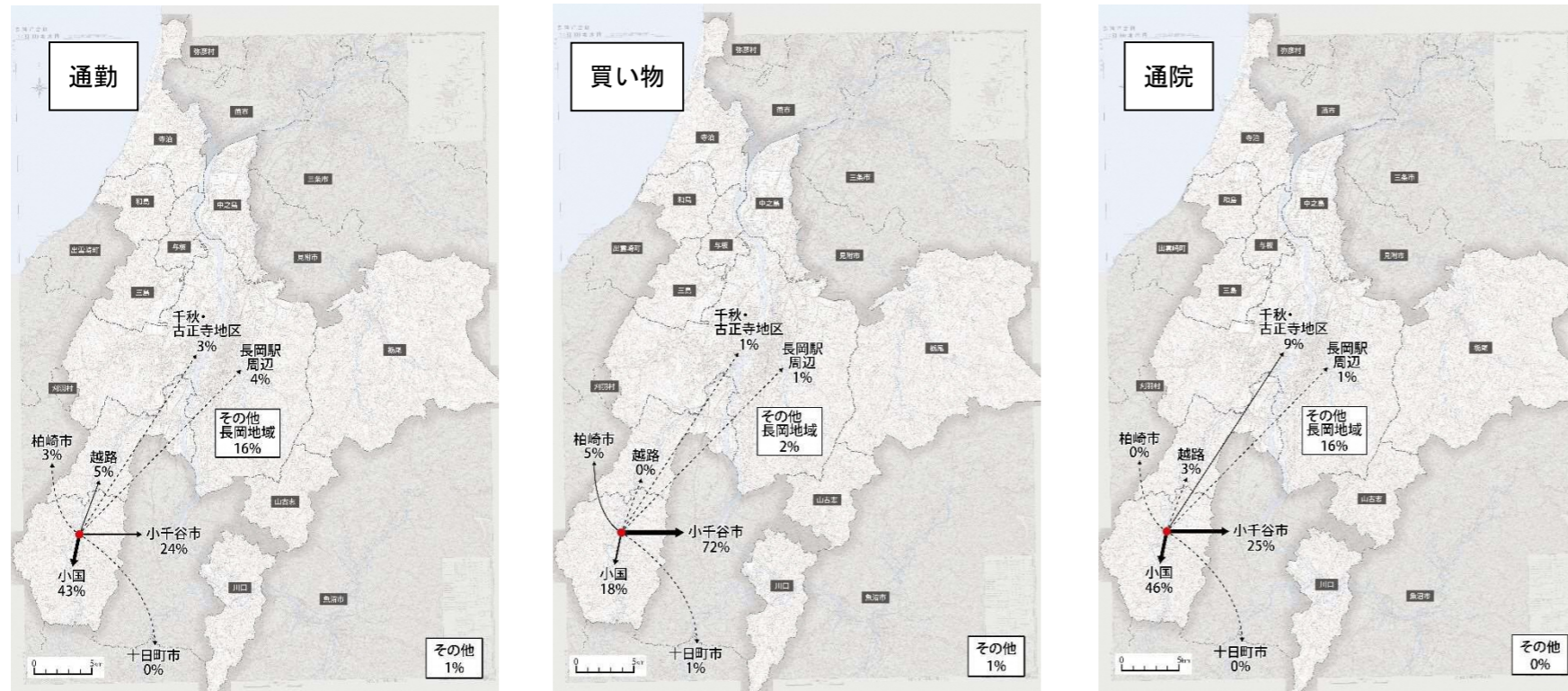


図 小国地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」、「鉄道や他のバスへの乗り継ぎ」に対して不満を感じている人が多いです。

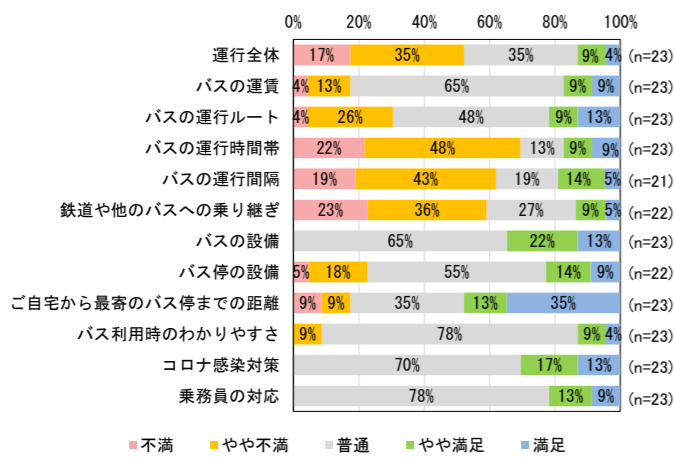


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

・バス利用者、バスを利用しない人ともに、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。

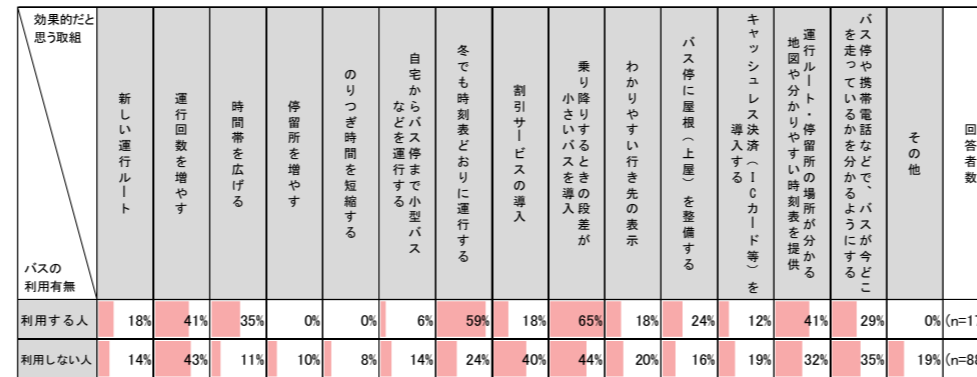


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用者：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（小国地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「鉄道」、及び「家族などによる送迎」が最も多いです。
・下校時の「路線バス」利用者は、登校時と比べて減少しています。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	57%	71%	0%	0%	71%	14%	29%	0%	(n=7)
下校時	29%	86%	0%	0%	86%	14%	14%	0%	(n=7)

図 登下校時の交通手段（複数回答）


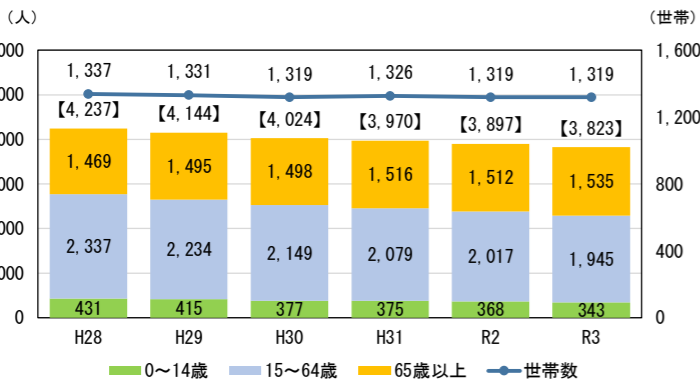
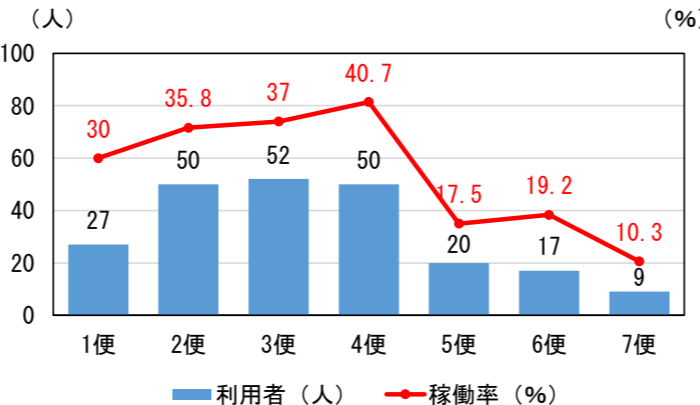
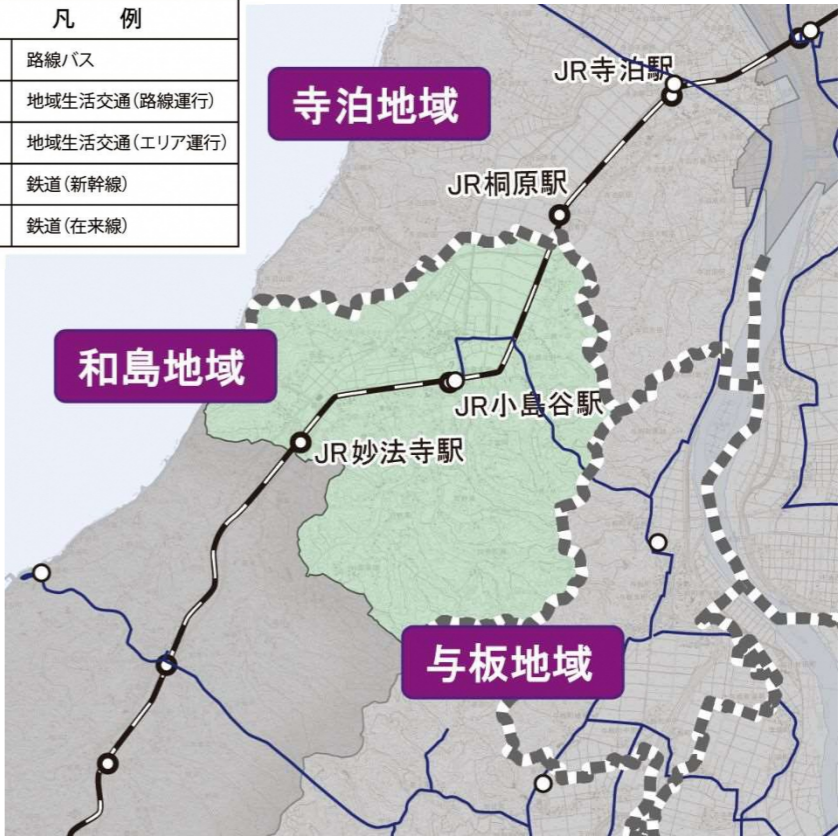
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=6）

- ① 運行本数が少ない（83%）
- ② 鉄道との乗り継ぎがしにくい（50%）
- ③ バス停が遠い（33%）
- ③ 最終便の時間が早い（33%）
- ③ 運賃が高い（33%）
- ③ 目的地まで時間がかかる（33%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

・意見なし

(7) 和島地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク																															
<p>・面積は 31.86 km²*¹ であり、長岡市の北西部に位置し、長岡駅から和島支所まで路線バスで、約 56 分*² の位置にあります。</p>  <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は、JR 越後線が運行されており、吉田・新潟方面や柏崎方面へアクセスすることができます。 ・路線バスは、長岡駅と小島谷駅を結ぶ路線が運行されています。 ・地域生活交通は、和島地域乗合タクシー（わし麻呂号）が令和 3 年 10 月から本格運行を開始しています。 ・和島地域乗合タクシーは地域内の移動のほか、路線バスや鉄道に乗り継ぐことができます。 <p>【和島地域デマンド型乗合タクシーの利用実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格運行における 1 便あたりの利用者数は 1.98 人/便であり、実証運行期間中の 1.47 人/便と比較して高くなっています。また、稼働率も高くなっています。 <p>表 本格運行時の利用実績 (R3.10~12月)</p> <table border="1" data-bbox="985 970 1745 1188"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数 (人)</th> <th>利用者数 (人/便)</th> <th>運行便数 (便)</th> <th>稼働率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実証運行</td> <td>225 人</td> <td>1.47 人/便</td> <td>153 便</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>本格運行</td> <td>167 人</td> <td>1.98 人/便</td> <td>84 便</td> <td>42.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：長岡市</p>		利用者数 (人)	利用者数 (人/便)	運行便数 (便)	稼働率 (%)	実証運行	225 人	1.47 人/便	153 便	27%	本格運行	167 人	1.98 人/便	84 便	42.4%	<p>表 運行している路線バス・地域生活交通 (R3：平日)</p> <table border="1" data-bbox="1994 453 2689 663"> <thead> <tr> <th></th> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス</td> <td>長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線</td> <td>8 便</td> </tr> <tr> <td>地域生活交通</td> <td>和島地域デマンド型乗合タクシー (わし麻呂号)</td> <td>5 便 (金曜：6 便)</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 鉄道・路線バスと地域生活交通間の乗り継ぎ状況 (R3：平日)</p> <table border="1" data-bbox="2125 747 2588 886"> <thead> <tr> <th></th> <th>乗り継ぎ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道</td> <td>4 便/6 便が乗換え*可能</td> </tr> <tr> <td>路線バス</td> <td>3 便/5 便が乗換え*可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乗換えは 30 分以内と想定</p>		路線	運行便数	路線バス	長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線	8 便	地域生活交通	和島地域デマンド型乗合タクシー (わし麻呂号)	5 便 (金曜：6 便)		乗り継ぎ状況	鉄道	4 便/6 便が乗換え*可能	路線バス	3 便/5 便が乗換え*可能
	利用者数 (人)	利用者数 (人/便)	運行便数 (便)	稼働率 (%)																												
実証運行	225 人	1.47 人/便	153 便	27%																												
本格運行	167 人	1.98 人/便	84 便	42.4%																												
	路線	運行便数																														
路線バス	長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線	8 便																														
地域生活交通	和島地域デマンド型乗合タクシー (わし麻呂号)	5 便 (金曜：6 便)																														
	乗り継ぎ状況																															
鉄道	4 便/6 便が乗換え*可能																															
路線バス	3 便/5 便が乗換え*可能																															
<p>人口・世帯数</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — 路線バス — 地域生活交通(路線運行) — 地域生活交通(エリア運行) — 鉄道(新幹線) — 鉄道(在来線) 																															
<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は減少しており、世帯数は横ばいで推移しています。 ・0～14 歳、15～64 歳の人口は減少していますが、65 歳以上の高齢者人口は増加しています。  <p>図 年齢 3 区分別人口推移 出典：住民基本台帳 (各年 4.1 現在)</p>	 <p>図 実証運行期間中の便別利用実績 (R3.4~9月) 出典：長岡市</p>	 <p>図 和島地域の公共交通ネットワーク</p>																														

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（和島地域居住者）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

・和島地域は、同目的での外出先が多方面にわたっています。「通勤」は和島地域が最も多いですが、長岡地域や与板地域、燕市も多くなっています。「買い物」は長岡地域が最も多いですが、和島地域やその周辺地域、燕市など広く外出が見られます。「通院」は長岡地域が最も多いですが、和島地域内や燕市も多く見られます。またその他も14%と多くなっていますが、これは三島地域への通院が想定されます。

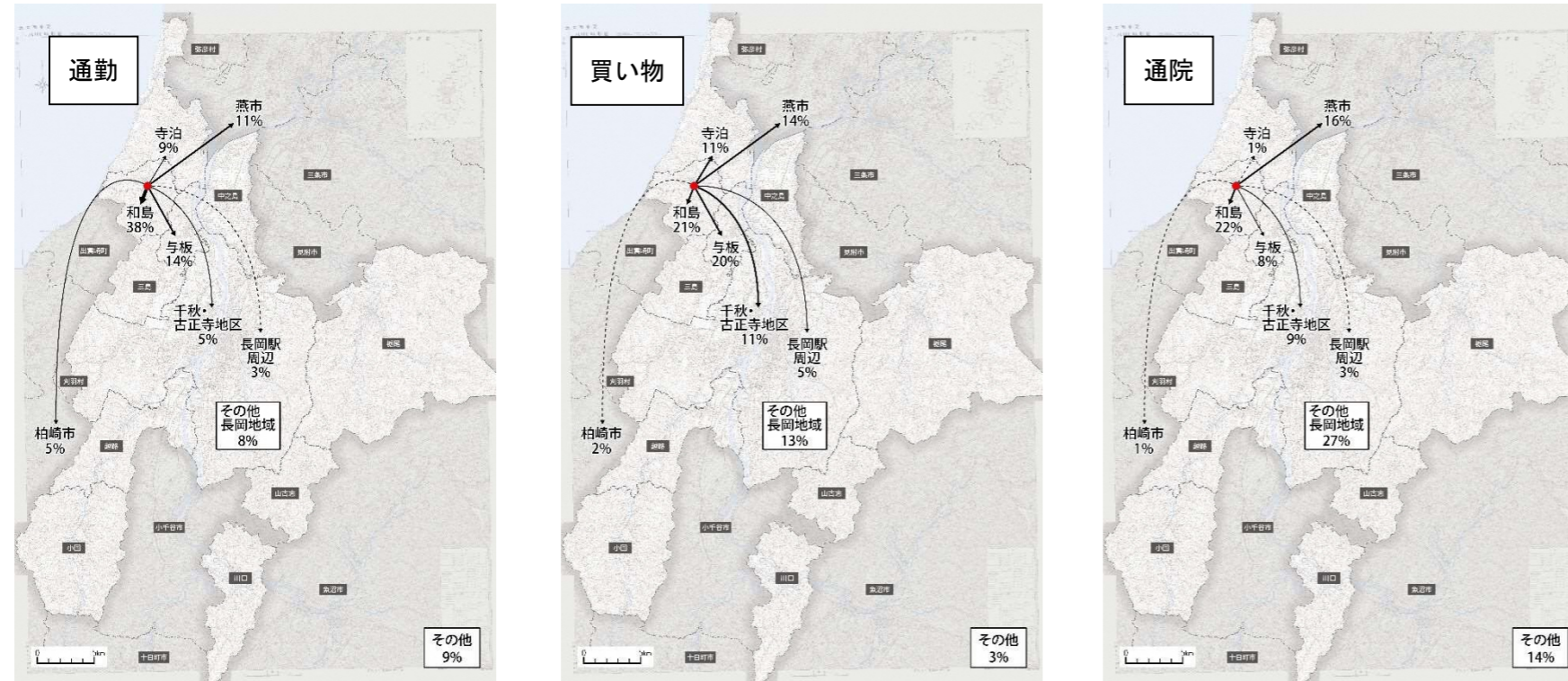


図 和島地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

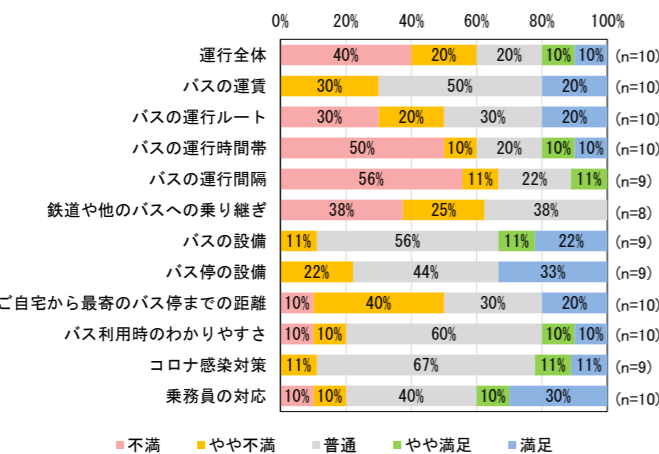


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

・バス利用者は、「運行回数を増やす」が最も多いです。
・バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

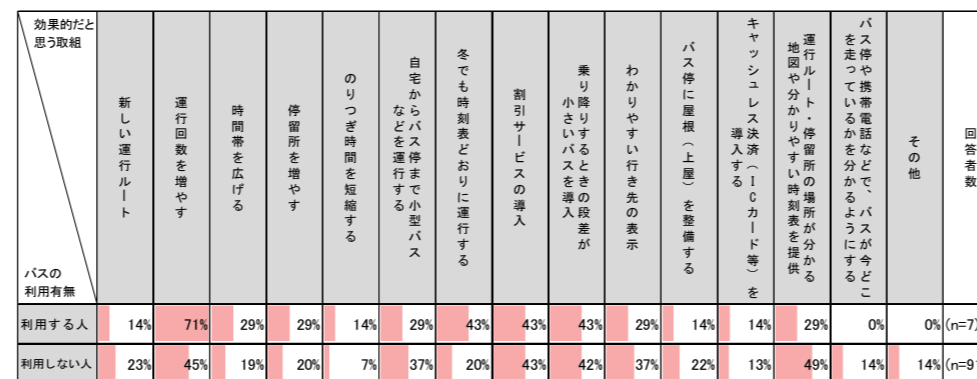


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（和島地域居住者）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「路線バス」が最も多く、次いで「徒歩・自転車」という結果になりました。
・「家族などによる送迎」は他地域と比較して少なく、22~33%となりました。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	89%	0%	0%	0%	22%	0%	56%	0%	(n=9)
下校時	89%	0%	0%	0%	33%	0%	56%	0%	(n=9)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

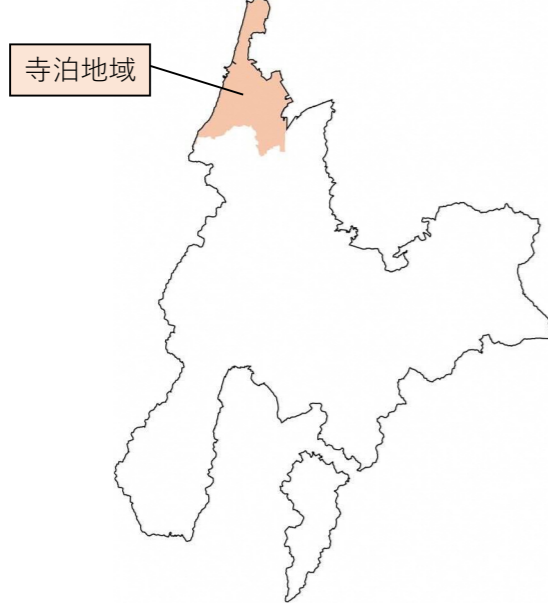
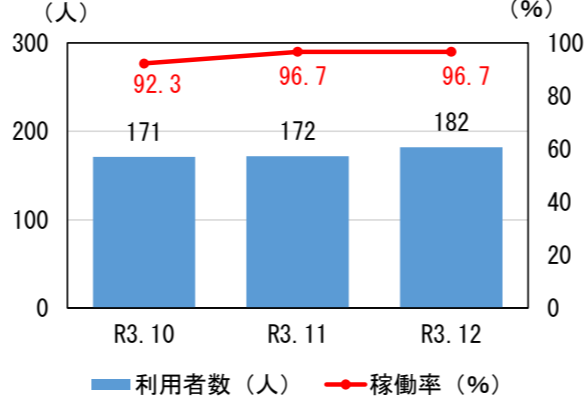
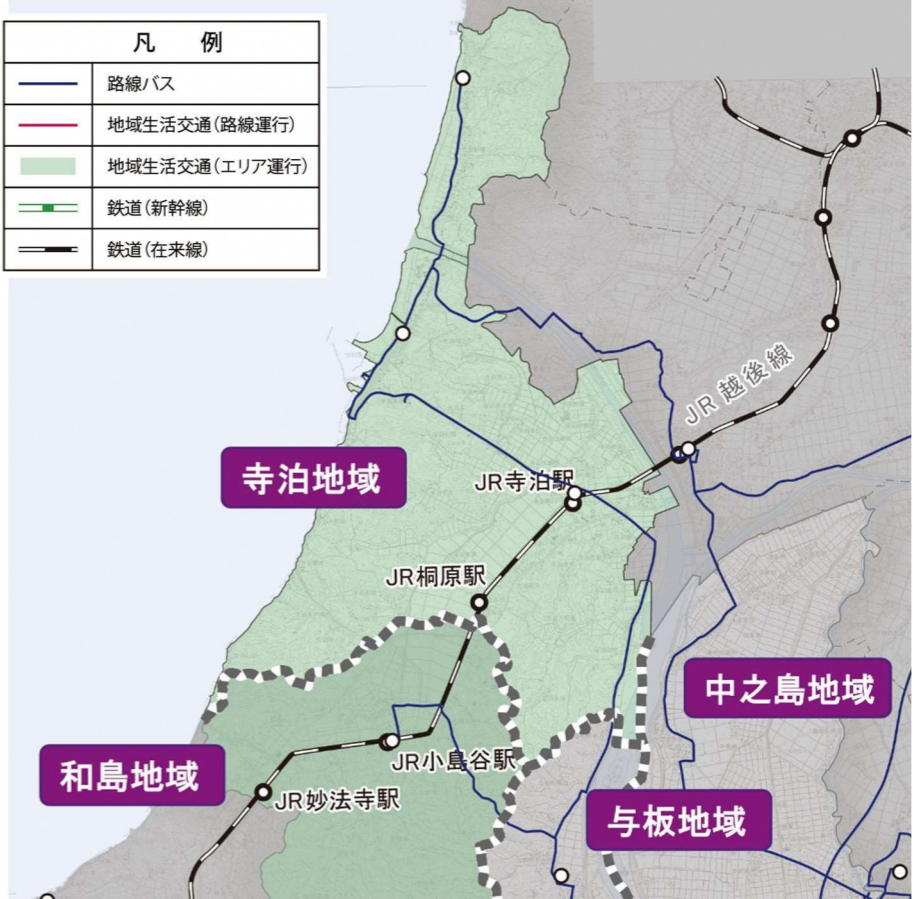
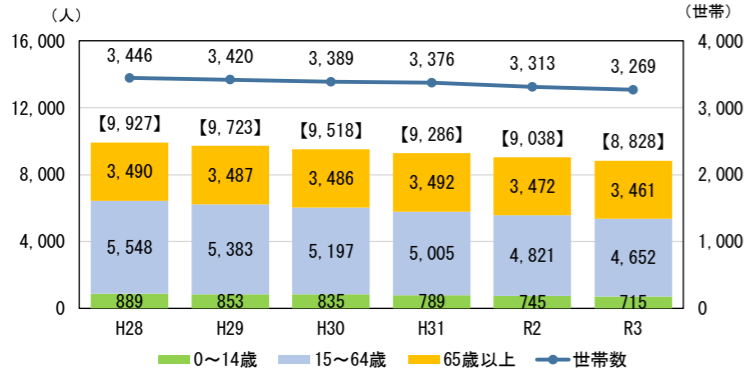
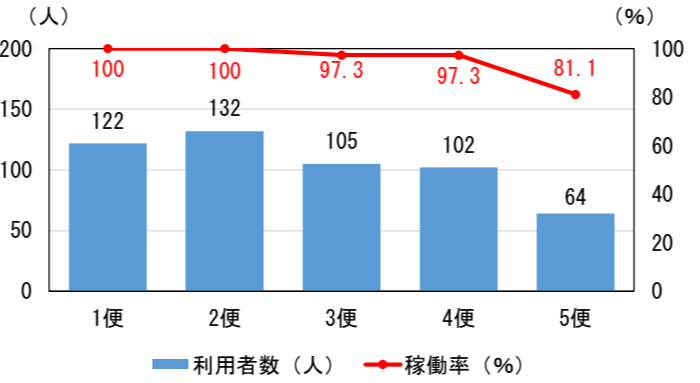
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=9）

- ① 運行本数が少ない（89%）
- ② 最終便の時間が早い（56%）
- ③ 時刻表どおりに来ない（33%）
- ④ 目的地まで時間がかかる（33%）
- ⑤ バス停が遠い（11%）
- ⑥ 始発便の時間が遅い（11%）
- ⑦ 運賃が高い（11%）
- ⑧ 車内が混雑し、座れない（11%）
- ⑨ 待合環境が悪い（ベンチや上屋など）（11%）
- ⑩ SuicaなどのICカードが利用できない（11%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

・バスの運行本数が昨年より減り、遅い時間に家に着くことになり少し不便なので、最終便の時間をもう少し早めてほしい。

(8) 寺泊地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク	公共交通ネットワーク														
<p>・面積は 58.16 km^{※1} であり、長岡市の北部に位置し、長岡駅から寺泊支所まで路線バスで約 67 分^{※2} の位置にあります。</p>  <p>寺泊地域</p> <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は、JR 越後線が運行されており、燕・新潟方面、柏崎方面へアクセスすることが可能です。 ・路線バスは、長岡駅を結ぶ路線と、東三条駅を結ぶ 2 路線の計 3 路線が運行されています。 ・地域生活交通は、令和 3 年 10 月より寺泊地域デマンド型乗合タクシー（通称：まりん号）の実証運行を開始しました。毎週月・水・金曜日に運行しており、寺泊地域内の移動に加えて、燕市の分水エリアまで乗り換えなしでアクセスすることが可能です。 <p>【寺泊地域生活交通の利用実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年 10 月の実証運行開始以降、利用者数は増加傾向です。また、稼働率も 12 月で 96.7%と高くなっています。 ・便別の利用状況は、午前中の早い時間帯に運行する 1 便と 2 便の利用者が多くっており、稼働率も 100%となっています。 	<p>表 運行している路線バス・地域生活交通（R3：平日）</p> <table border="1" data-bbox="1952 472 2730 793"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線</td> <td>27 便</td> </tr> <tr> <td>東三条駅＝済生会＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線</td> <td>5 便</td> </tr> <tr> <td>東三条駅＝燕三条駅＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線</td> <td>4 便</td> </tr> <tr> <td>地域生活交通</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寺泊地域デマンド型乗合タクシー（まりん号）</td> <td>5 便</td> </tr> </tbody> </table>	路線	運行便数	路線バス		長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線	27 便	東三条駅＝済生会＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線	5 便	東三条駅＝燕三条駅＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線	4 便	地域生活交通		寺泊地域デマンド型乗合タクシー（まりん号）	5 便
路線	運行便数															
路線バス																
長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線	27 便															
東三条駅＝済生会＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線	5 便															
東三条駅＝燕三条駅＝分水駅＝中島・渡部＝寺泊車庫前線	4 便															
地域生活交通																
寺泊地域デマンド型乗合タクシー（まりん号）	5 便															
<p>人口・世帯数</p>	<p>図 月別利用状況</p>  <p>出典：長岡市</p>	<p>図 寺泊地域の公共交通ネットワーク</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス 地域生活交通(路線運行) 地域生活交通(エリア運行) 鉄道(新幹線) 鉄道(在来線) 														
<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口、世帯数はともに減少しています。 ・65 歳以上の高齢者人口の割合は増加しています。  <p>図 年齢 3 区分別人口推移</p> <p>出典：住民基本台帳（各年 4.1 現在）</p>	<p>図 便別利用状況</p>  <p>出典：長岡市</p>	<p>寺泊地域</p> <p>中之島地域</p> <p>和島地域</p> <p>与板地域</p>														

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（寺泊地域居住者）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- ・寺泊地域住民は、「通勤」では寺泊地域内へ外出する人が最も多く、「買い物」及び「通院」では隣接する燕市への外出が最も多いです。
- ・長岡地域へ外出する人はいずれの目的においても少ないです。

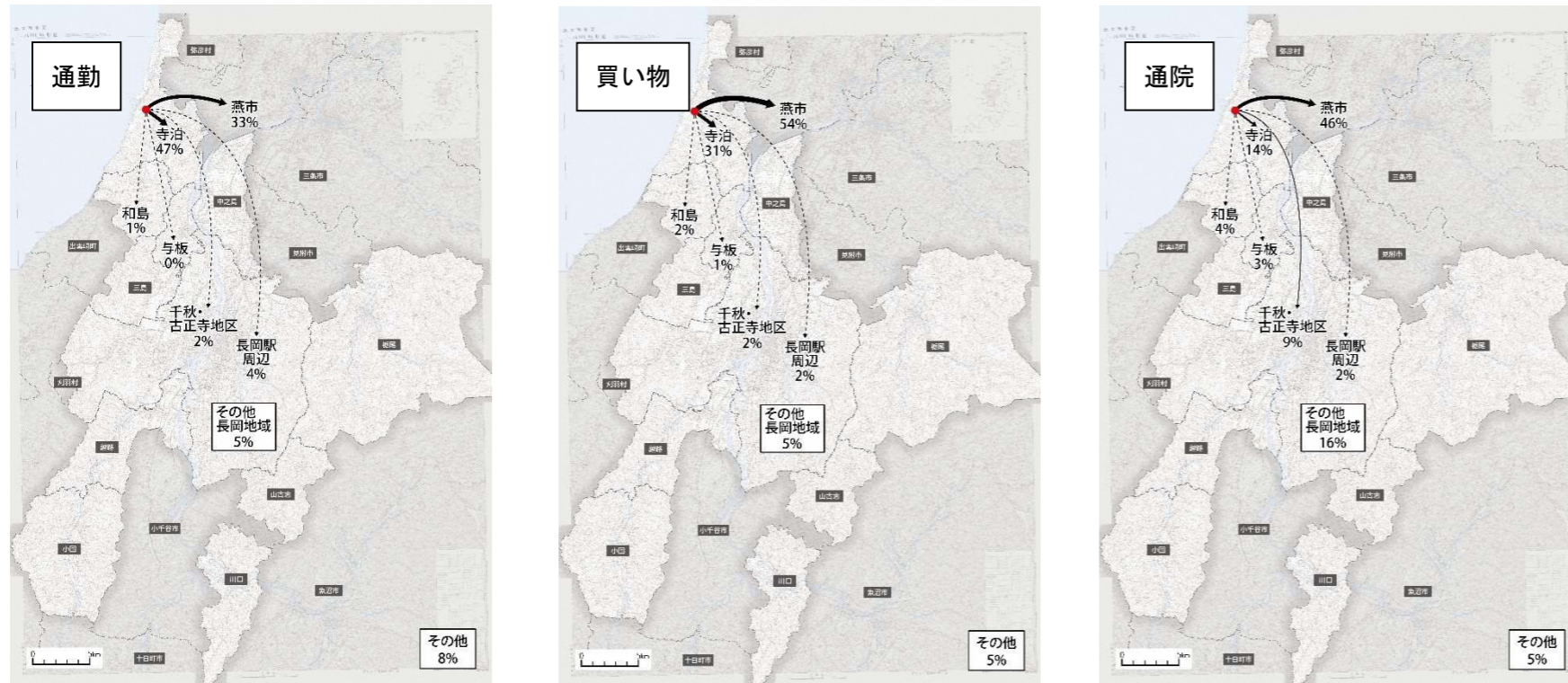


図 寺泊地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- ・「バスの運行間隔」や「鉄道や他のバスへの乗り継ぎ」に対して不満を感じている人が多いです。

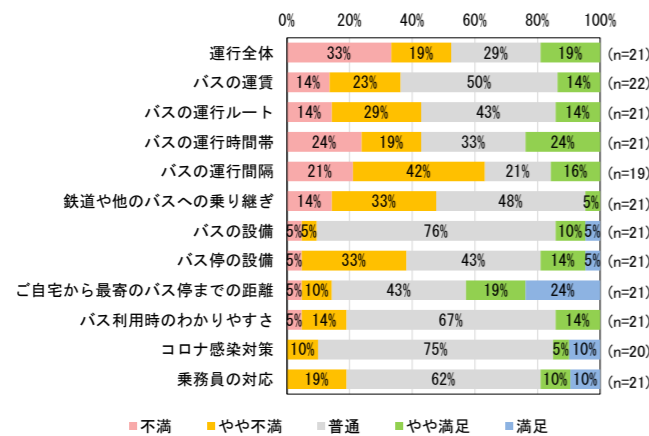


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- ・バスを利用する人、バスを利用しない人ともに、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。

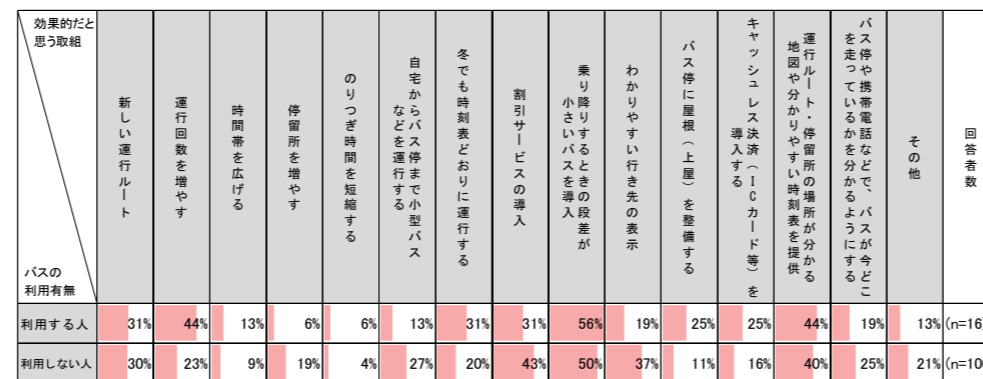


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（寺泊地域居住者）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

- ・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登校時は「路線バス」、「家族などによる送迎」が最も多く、下校時は「路線バス」が最も多いです。
- ・下校時の「路線バス」利用者は登校時と比較して多く、下校時のみ路線バスを利用する人がいると考えられます。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	75%	25%	0%	0%	75%	0%	50%	0%	(n=8)
下校時	100%	25%	0%	0%	75%	0%	50%	0%	(n=8)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

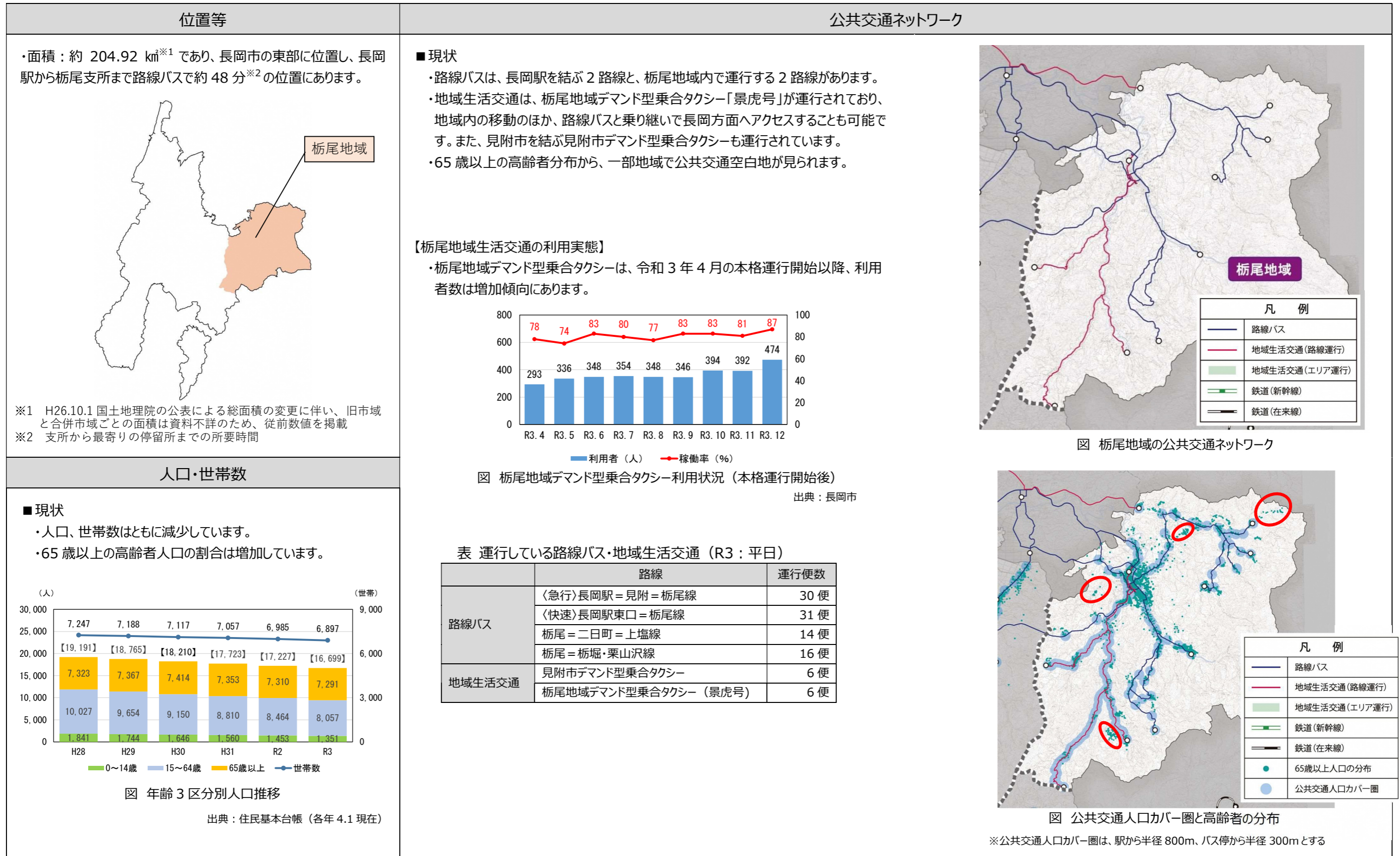
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=7）

- ①運行本数が少ない（71%）
- ②待ち環境が悪い（ベンチや上屋など）（43%）
- ②目的地まで時間がかかる（43%）
- ②車内が混雑し、座れない（43%）
- ⑤最終便の時間が早い（29%）
- ⑤運賃が高い（29%）
- ⑤SuicaなどのICカードが利用できない（29%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・寺泊駅から長岡駅までの電車を通してほしい

(9) 栃尾地域における公共交通を取り巻く状況



住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（栃尾地域居住者）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

・栃尾地域住民は、いずれの目的においても栃尾地域内への外出が最も多く、次いで長岡地域が多いです。



図 栃尾地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」、「バスの運行ルート」に対して不満を感じている人が多いです。

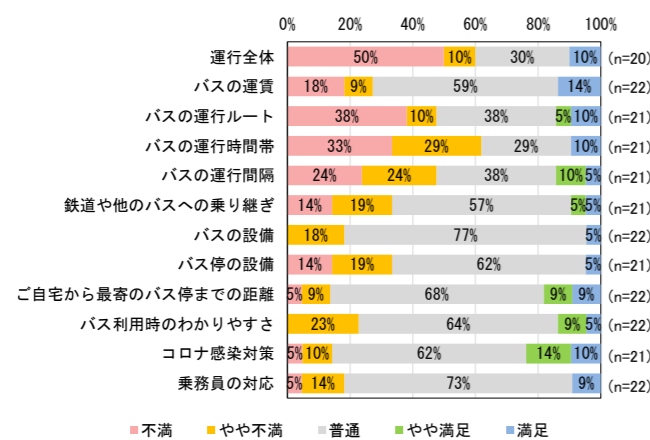


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

・バスを利用する人、利用しない人ともに「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。

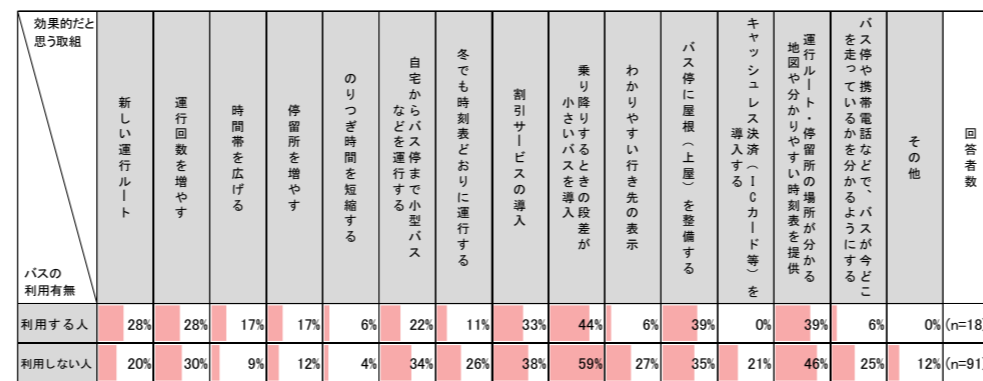


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（栃尾地域居住者）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「家族などによる送迎」が最も多く、次いで「路線バス」という結果になりました。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	44%	0%	1%	2%	72%	0%	34%	0%	(n=100)
下校時	57%	3%	2%	2%	63%	0%	36%	0%	(n=100)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

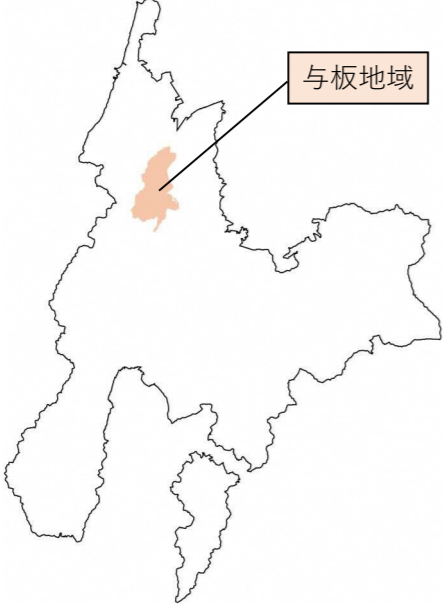
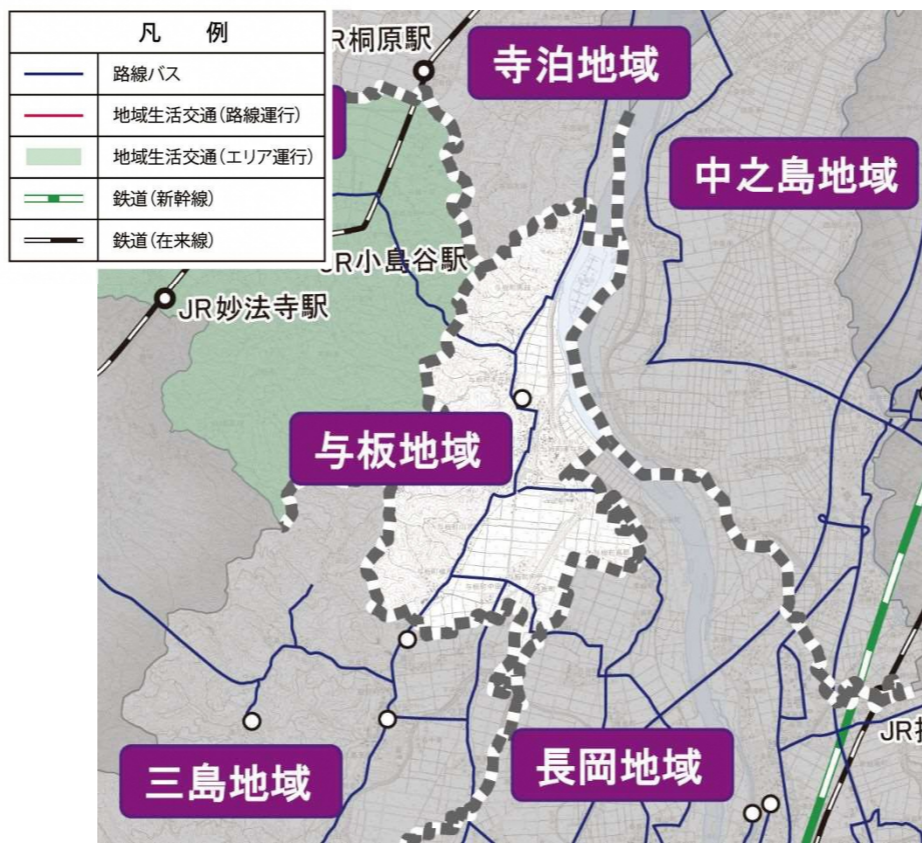
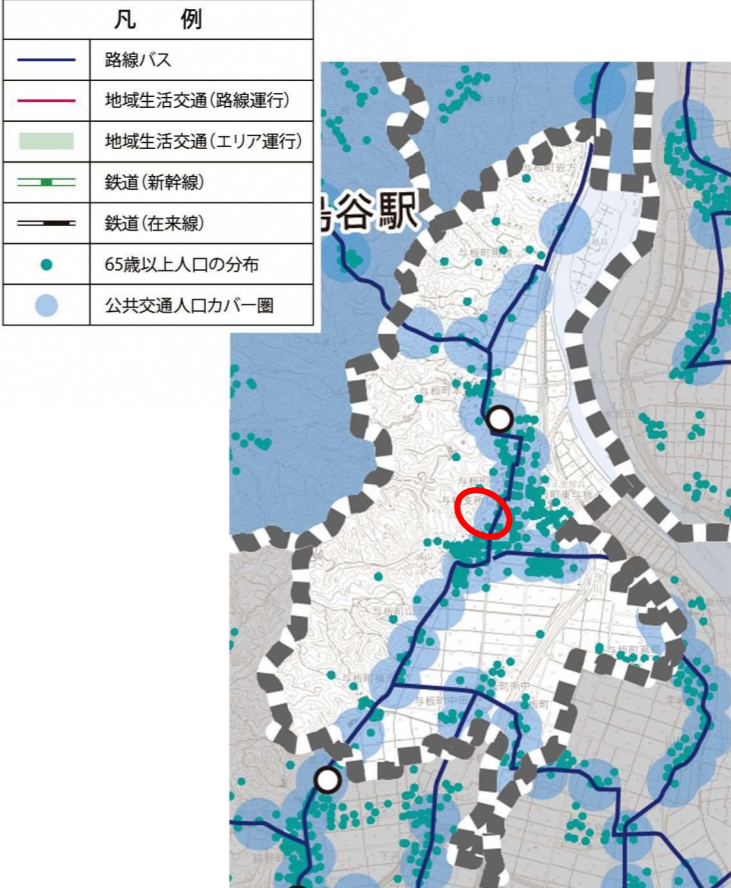
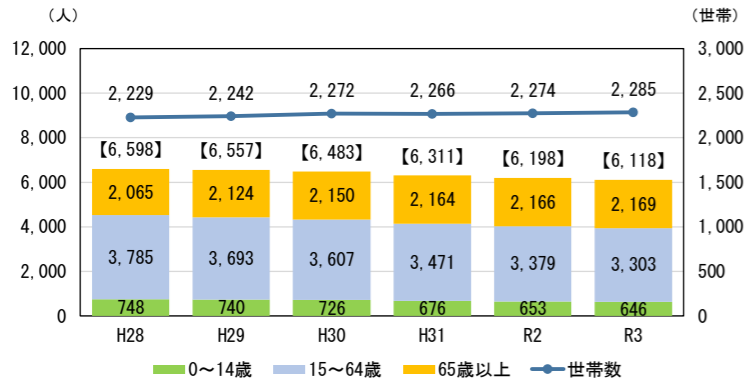
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=85）

- ① 運行本数が少ない（67%）
- ② 運賃が高い（49%）
- ③ バス停が遠い（25%）
- ④ 家族や友人に送迎を頼める（21%）
- ⑤ 目的地まで時間がかかる（20%）
- ⑥ SuicaなどのICカードが利用できない（20%）
- ⑦ 車内が混雑し、座れない（20%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・バスの運行本数を増やしてほしい
- ・最終便の時間を遅くしてほしい
- ・基本的に遅延するので、ダイヤの抜本的な見直しが必要
- ・運賃の支払いにICカードを追加してほしい

(10) 与板地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク													
<p>・面積は 20.05 km^{※1} であり、長岡市の北部に位置し、長岡駅から与板支所まで路線バスで約 32 分^{※2} の位置にあります。</p>  <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスは、長岡駅を結ぶ路線が 5 路線あり、寺泊や小島谷駅方面へアクセスすることができる路線もあります。 ・地域生活交通は運行されていません。 ・65 歳以上の高齢者分布から、与板地域の中心部で一部公共交通空白地が見られます。 	 <p>図 公共交通人口カバー圏と高齢者の分布</p> <p>※公共交通人口カバー圏は、駅から半径 800m、バス停から半径 300mとする</p>												
人口・世帯数	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は減少していますが、世帯数は増加しています。 ・0～14 歳、15～64 歳の人口は減少していますが、一方で 65 歳以上の高齢者人口は増加しています。  <p>図 年齢 3 区分別人口推移</p> <p>出典：住民基本台帳（各年 4.1 現在）</p> <p>表 運行している路線バス等公共交通（R3：平日）</p> <table border="1" data-bbox="1098 1564 1810 1848"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長岡駅＝河根川＝与板線</td> <td>12 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝関原＝与板線</td> <td>9 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線</td> <td>27 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線</td> <td>8 便</td> </tr> <tr> <td>長岡駅＝李崎＝与板線</td> <td>3 便</td> </tr> </tbody> </table>		路線	運行便数	長岡駅＝河根川＝与板線	12 便	長岡駅＝関原＝与板線	9 便	長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線	27 便	長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線	8 便	長岡駅＝李崎＝与板線	3 便
路線	運行便数													
長岡駅＝河根川＝与板線	12 便													
長岡駅＝関原＝与板線	9 便													
長岡駅＝李崎＝与板＝寺泊線	27 便													
長岡駅＝榎下・成沢＝与板＝小島谷駅線	8 便													
長岡駅＝李崎＝与板線	3 便													

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（与板地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- ・与板地域住民は、いずれの目的においても与板地域、長岡地域へ外出する人が多いです。
- ・「買い物」及び「通院」で長岡地域へ外出する人のうち、長岡駅周辺まで行く人は少ないです。

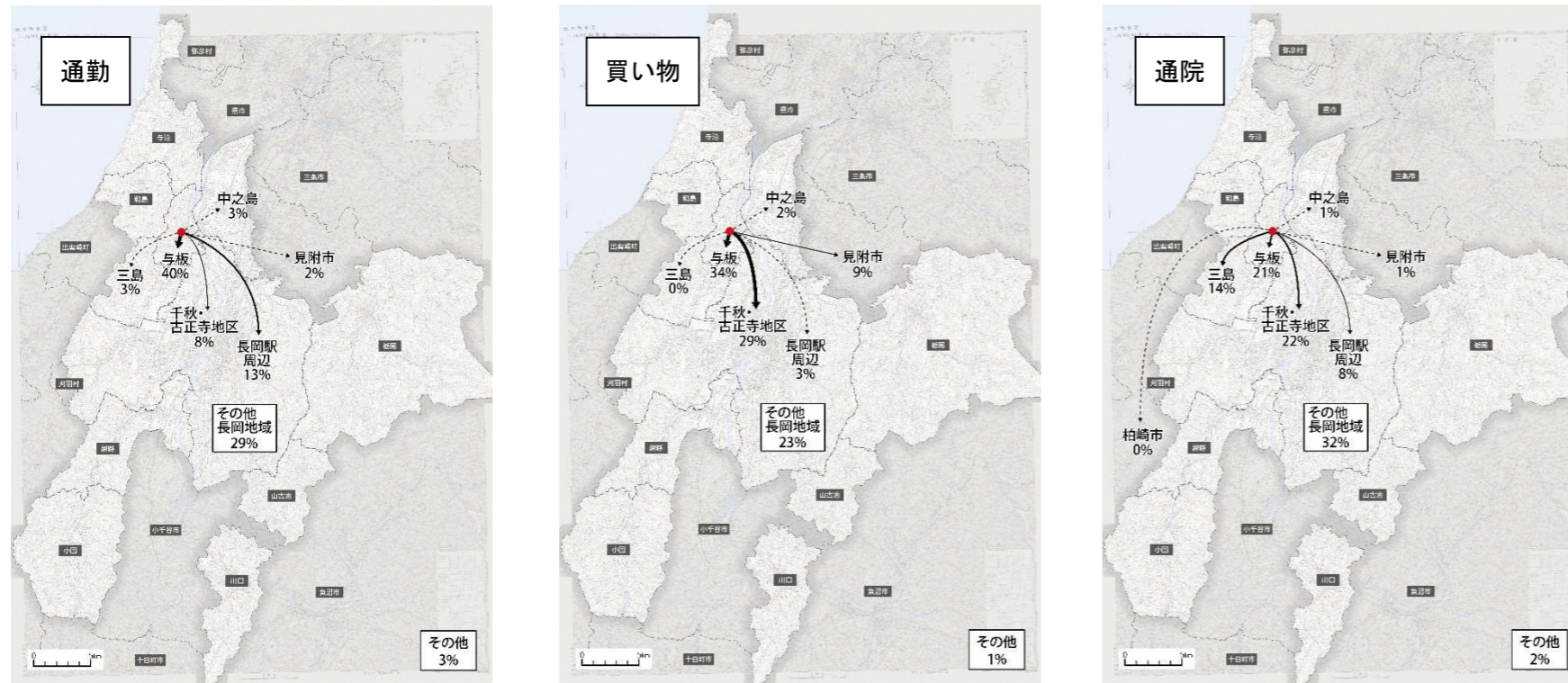


図 与板地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- ・「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

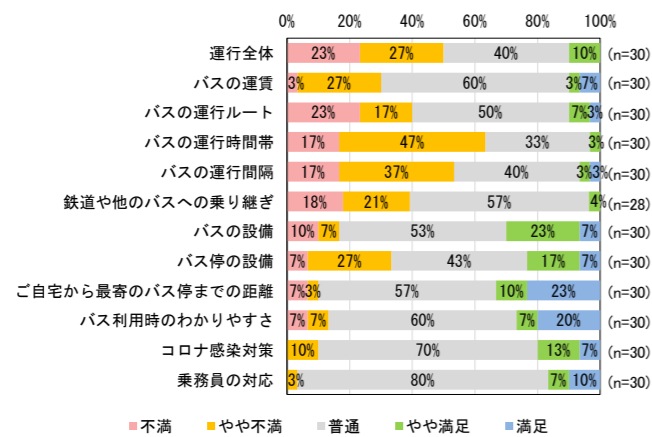


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- ・バス利用者は、「運行回数を増やす」、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。
- ・バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

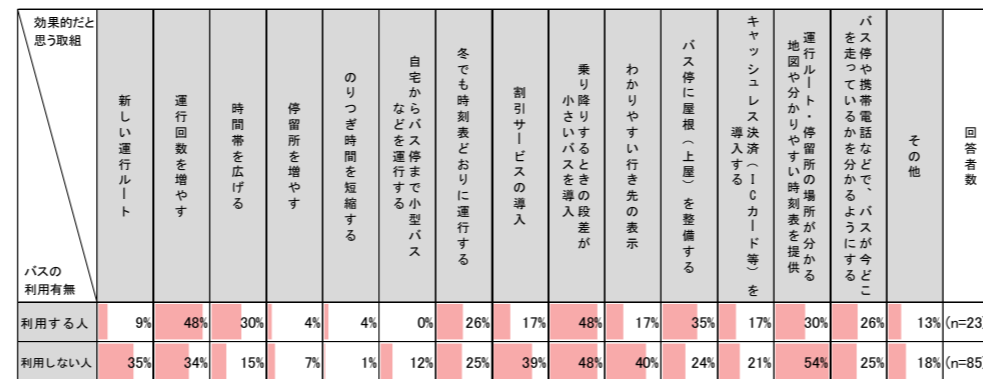


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※ 利用者：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（与板地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

- ・長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「路線バス」が最も多く、次いで「家族などによる送迎」が多いです。
- ・下校時に「路線バス」を利用する人は、登校時と比較して多くなっており、下校時のみ公共交通を利用する人がいると考えられます。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバスや乗合タクシー	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	78%	14%	0%	0%	59%	0%	38%	0%	(n=37)
下校時	89%	14%	0%	0%	51%	0%	43%	0%	(n=37)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

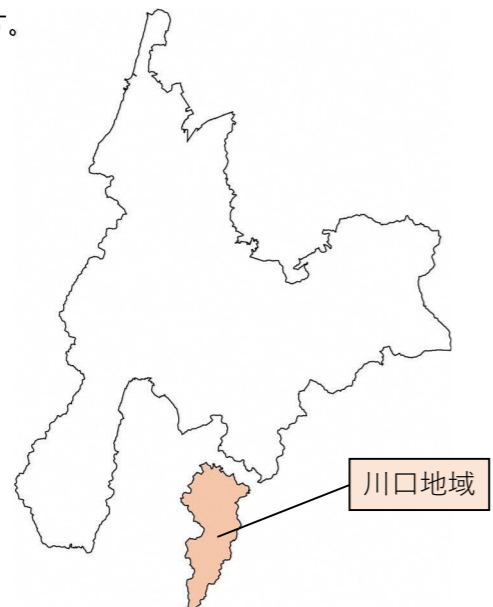
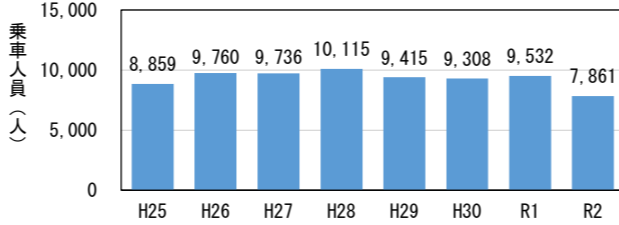
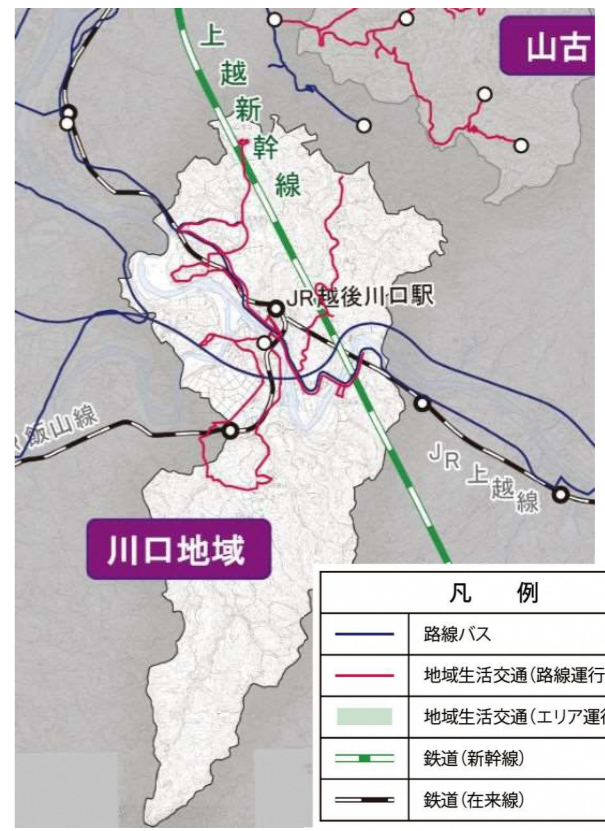
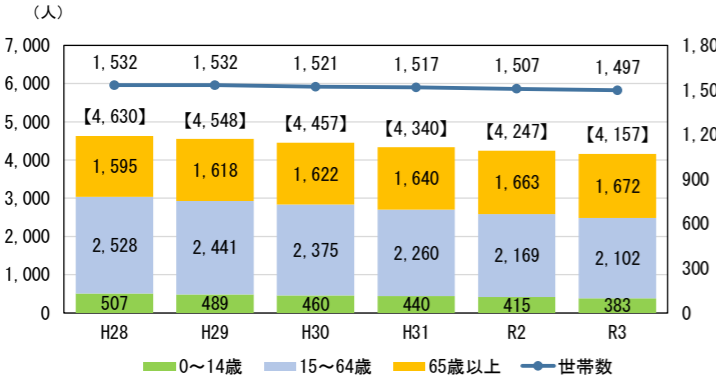
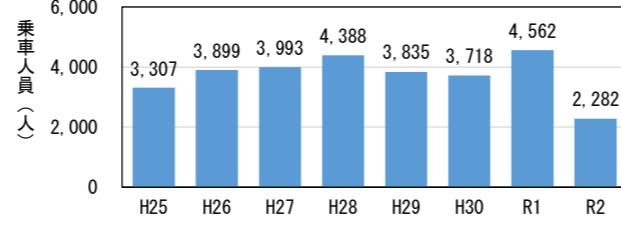
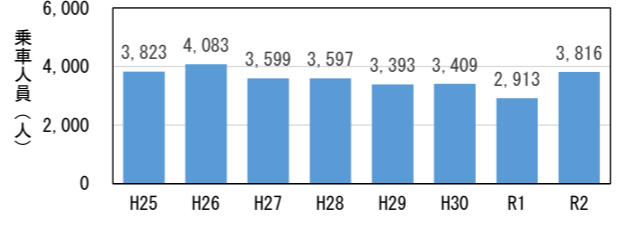
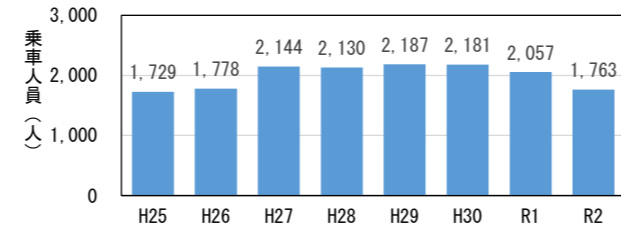
■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=33）

- ① 運行本数が少ない（67%）
- ② 最終便の時間が早い（42%）
- ③ 車内が混雑し、座れない（36%）
- ④ 運賃が高い（27%）
- ④ SuicaなどのICカードが利用できない（27%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- ・バスの本数を増やしてほしい
- ・終バスの時間を遅くしてほしい
- ・与板地域から直接中之島、見附、三条、燕に行ける手段が欲しい

(11) 川口地域における公共交通を取り巻く状況

位置等	公共交通ネットワーク																						
<p>・面積は 50.03 km²※1 であり、長岡市の南部に位置し他の地域と連続しておらず、長岡駅から川口支所まで路線バスで約 78 分※2 の位置にあります。</p>  <p>※1 H26.10.1 国土地理院の公表による総面積の変更に伴い、旧市域と合併市域ごとの面積は資料不詳のため、従前数値を掲載 ※2 支所から最寄りの停留所までの所要時間</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道は、長岡と湯沢方面を結ぶ JR 上越線、川口と十日町方面を結ぶ JR 飯山線が運行されています。 ・路線バスは、小出と小千谷を結ぶ路線が運行されています。 ・地域生活交通は、川口地域バス（通称：黄色いバス）が運行されています。また、鉄道や路線バスとの乗り継ぎが可能であり、川口地域外の各方面へ外出することができます。 <p>【川口地域生活交通の利用実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度以降の全路線の利用者は横ばいで推移していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により減少しています。 ・各路線別の利用状況は、新型コロナウイルスの影響や路線の見直し等により増減は見られるものの、概ね横ばいで推移しています。  <p>図 利用状況（全路線計）</p>	<p>表 運行している路線バス・地域生活交通（R3：平日）</p> <table border="1" data-bbox="2136 409 2745 661"> <thead> <tr> <th>路線バス</th> <th>路線</th> <th>運行便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>小出＝川口＝小千谷線</td> <td>12 便</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域生活交通（川口地域バス）</td> <td>西川口・田麦山線</td> <td>6 便</td> </tr> <tr> <td>木沢・和南津線</td> <td>6 便</td> </tr> <tr> <td>上川線</td> <td>6 便</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 鉄道・路線バスと地域生活交通間の乗り継ぎ状況（R3：平日）</p> <table border="1" data-bbox="2136 745 2745 955"> <thead> <tr> <th></th> <th>乗継可能本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西川口・田麦山線</td> <td>6 便/6 便が乗換え※可能</td> </tr> <tr> <td>木沢・和南津線</td> <td>6 便/6 便が乗換え※可能</td> </tr> <tr> <td>上川線</td> <td>6 便/6 便が乗換え※可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乗換えは 30 分以内と想定</p>  <p>図 川口地域の公共交通ネットワーク</p>	路線バス	路線	運行便数		小出＝川口＝小千谷線	12 便	地域生活交通（川口地域バス）	西川口・田麦山線	6 便	木沢・和南津線	6 便	上川線	6 便		乗継可能本数	西川口・田麦山線	6 便/6 便が乗換え※可能	木沢・和南津線	6 便/6 便が乗換え※可能	上川線	6 便/6 便が乗換え※可能
路線バス	路線	運行便数																					
	小出＝川口＝小千谷線	12 便																					
地域生活交通（川口地域バス）	西川口・田麦山線	6 便																					
	木沢・和南津線	6 便																					
	上川線	6 便																					
	乗継可能本数																						
西川口・田麦山線	6 便/6 便が乗換え※可能																						
木沢・和南津線	6 便/6 便が乗換え※可能																						
上川線	6 便/6 便が乗換え※可能																						
<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口と世帯数はともに減少しています。 ・0～14 歳、15～64 歳の人口は減少していますが、一方で 65 歳以上の高齢者人口は増加しています。  <p>図 年齢 3 区分別人口推移</p> <p>出典：住民基本台帳（各年 4.1 現在）</p>	 <p>図 利用状況（西川口・田麦山線）</p>  <p>図 利用状況（木沢・和南津線）</p>  <p>図 利用状況（上川線）</p>																						

住民（65歳以上）の移動に関するニーズ（川口地域居住者対象）

■ 目的別外出方面（住民アンケート）

- 川口地域住民は、目的によって外出先が大きく異なっており、「通勤」は川口地域内、「買い物」は小千谷市がそれぞれ最も多いです。「通院」は川口地域内及び小千谷市へ外出する人が多いです。
- 長岡地域へ外出する人は少なく、隣接する小千谷市への外出が多いです。

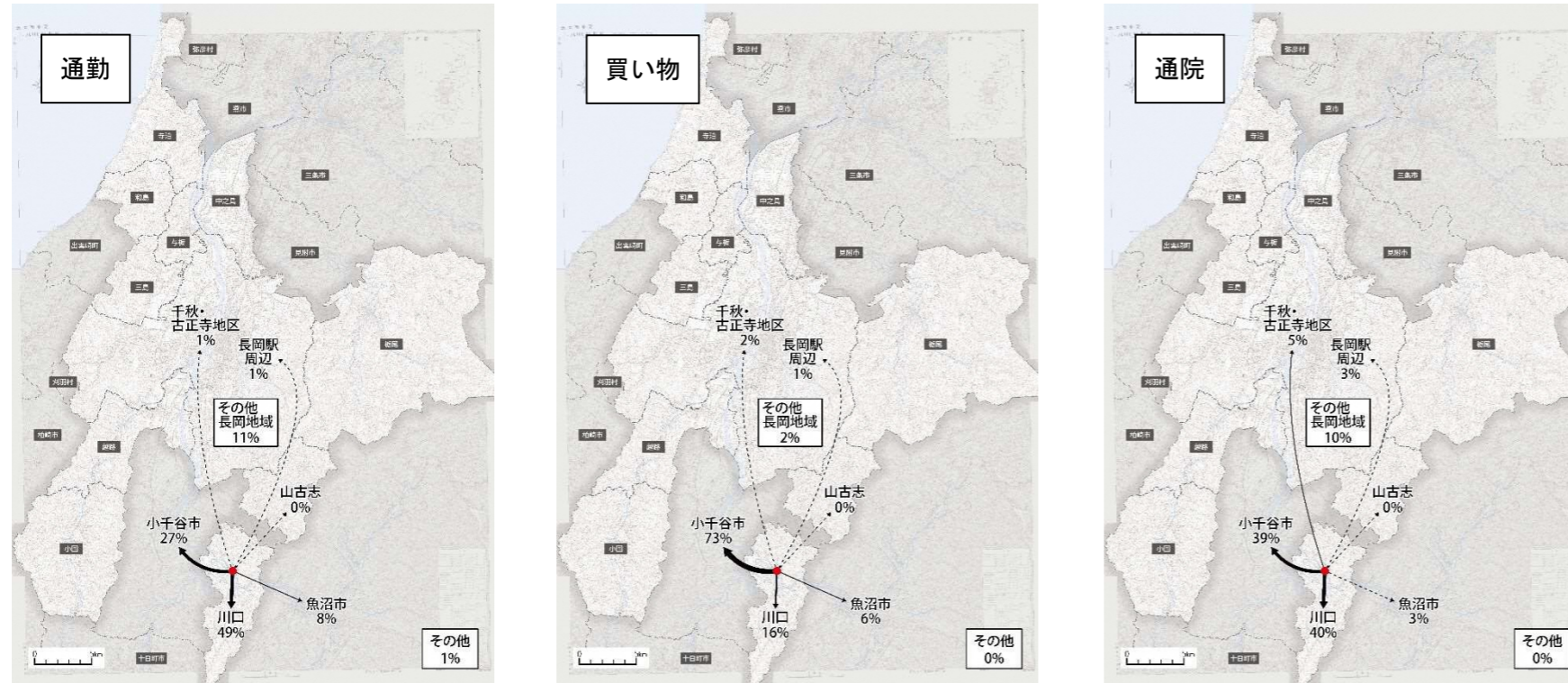


図 寺泊地域における目的別移動実態

■ バス利用者の満足度（住民アンケート）

- 「バスの運行時間帯」や「バスの運行間隔」に対して不満を感じている人が多いです。

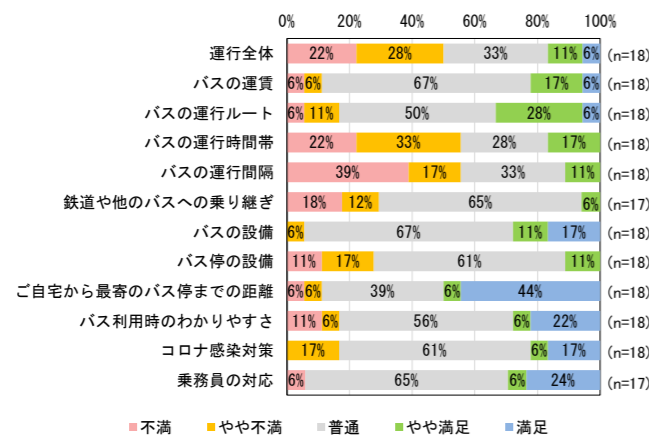


図 バス利用者の満足度

■ バスを利用するために効果的だと思う取り組み（住民アンケート）

- バス利用者は、「乗り降りするときの段差が小さいバスを導入」が最も多いです。
- バスを利用しない人は「運行ルート・停留所の場所が分かる地図や分かりやすい時刻表を提供」が最も多いです。

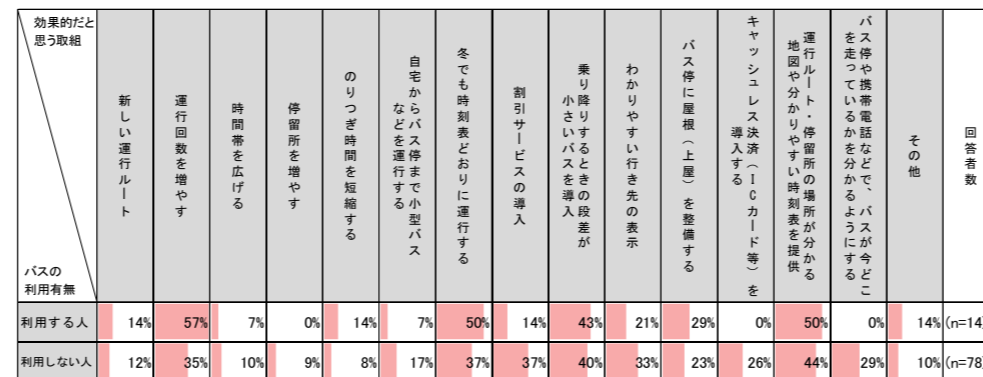


図 バスを利用するために効果的だと思う取り組み

※利用する人：数カ月に1回以上乗る人

高校生の登下校の状況（川口地域居住者対象）

■ 高校生の通学手段（高校生アンケート）

- 長岡市内の高校に通う生徒を対象に行ったアンケートでは、登下校時とも「鉄道」、「徒歩・自転車」が最も多いです。
- 「路線バス」を利用する人は13%となっています。

手段	路線バス	鉄道	高速バス	NPOやタクシー会社運行のバス	家族などによる送迎	バイク	徒歩・自転車	その他	回答者数
登校時	13%	75%	0%	0%	25%	0%	75%	0%	(n=8)
下校時	13%	75%	0%	0%	25%	0%	75%	0%	(n=8)

図 登下校時の交通手段（複数回答）

■ 路線バスの不便な点、利用しない理由上位5つ（高校生アンケート n=4）

- ①バス停が遠い（25%）
- ①ダイヤがわかりにくい（25%）
- ①運行本数が少ない（25%）
- ①始発便の時間が遅い（25%）
- ①運賃が高い（25%）
- ①目的地まで時間がかかる（25%）
- ①運行ルートや時刻表、乗り場が複雑でわかりにくい（25%）
- ①他のバスとの乗り継ぎがしにくい（25%）
- ①徒歩・自転車で出かけられる（25%）
- ①その他（25%）

■ 高校生の主な自由意見（高校生アンケート）

- 16時ごろ、鉄道の利用者が多いにもかかわらず、車両が少ない。
- 1時間に1本しか電車が来ないので、もっと増やしてほしい。